



Axial
RETAILING

CSR REPORT

2025

アクシアル リテイリング株式会社

Contents

1 目次・編集方針

目指すこと・経営基本方針

3 アクシアル リテイリングのあゆみ・アクシアル ポリシー

4 経営基本方針

5 トップメッセージ

6 アクシアル リテイリングにとっての重要な事項(マテリアリティ)

重要な事項を包括する取り組み

8 エシカル商品Hana-well

安全・法令順守を前提としたライフラインの提供

14 もっと おいしさがドまん中へ！

15 普段づかいのスーパーマーケットとしてご利用いただくために

16 規模・機能を活かしたおいしさの磨き込み

17 災害時に向けた備え

持続可能な社会に向けた環境対応

18 環境経営

19 温室効果ガス排出削減

23 TCFD提言に基づく情報開示

25 使い捨てプラスチックの削減・リサイクル

編集方針

本CSRレポートは、アクシアル リテイリングの持続可能な社会の実現に向けた取り組みをステークホルダーの皆様に分かりやすく伝えることを目的として作成しています。

〔対象期間〕 2024年4月1日～2025年3月31日 ただし、対象期間外の情報も含みます。

〔対象範囲〕 アクシアル リテイリング株式会社およびグループ企業計11社

〔発行時期〕 2025年6月

28 食品廃棄物の発生抑制

29 食品廃棄物のリサイクル

30 事業活動による環境影響

31 環境会計

社会変化・技術革新への対応

32 広がるデジタルサービス

包摂的な社会、健康的でより豊かな文化生活の実現

34 誰もがいきいきと活躍できる職場

36 誰もが働きやすい職場

38 一人ひとりが主体的にキャリアを描ける職場

40 TQMは経営の根幹

41 ミライにつながる人材育成

42 地域に根ざしたスーパーマーケットとして

社会との共生

44 信頼の構築

45 会社概要



アクシアル リテイリング株式会社は、原信・ナルス・フレッセイ、
3つのスーパーマーケットを運営しています。



原信
67
店舗



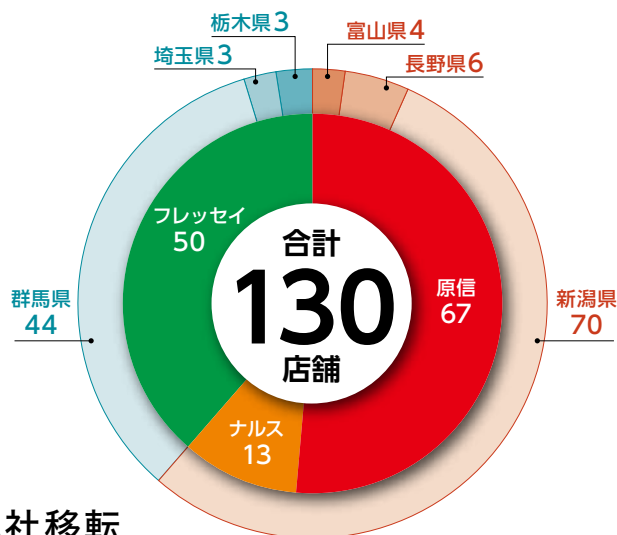
ナルス
13
店舗



フレッセイ
50
店舗

合計
130
店舗

※2025年3月末現在



2024年度の新店舗・改装店舗・本社移転



2024年7月6日 改装
原信 黒埼店



2024年9月21日 改装
ナルス 北城店



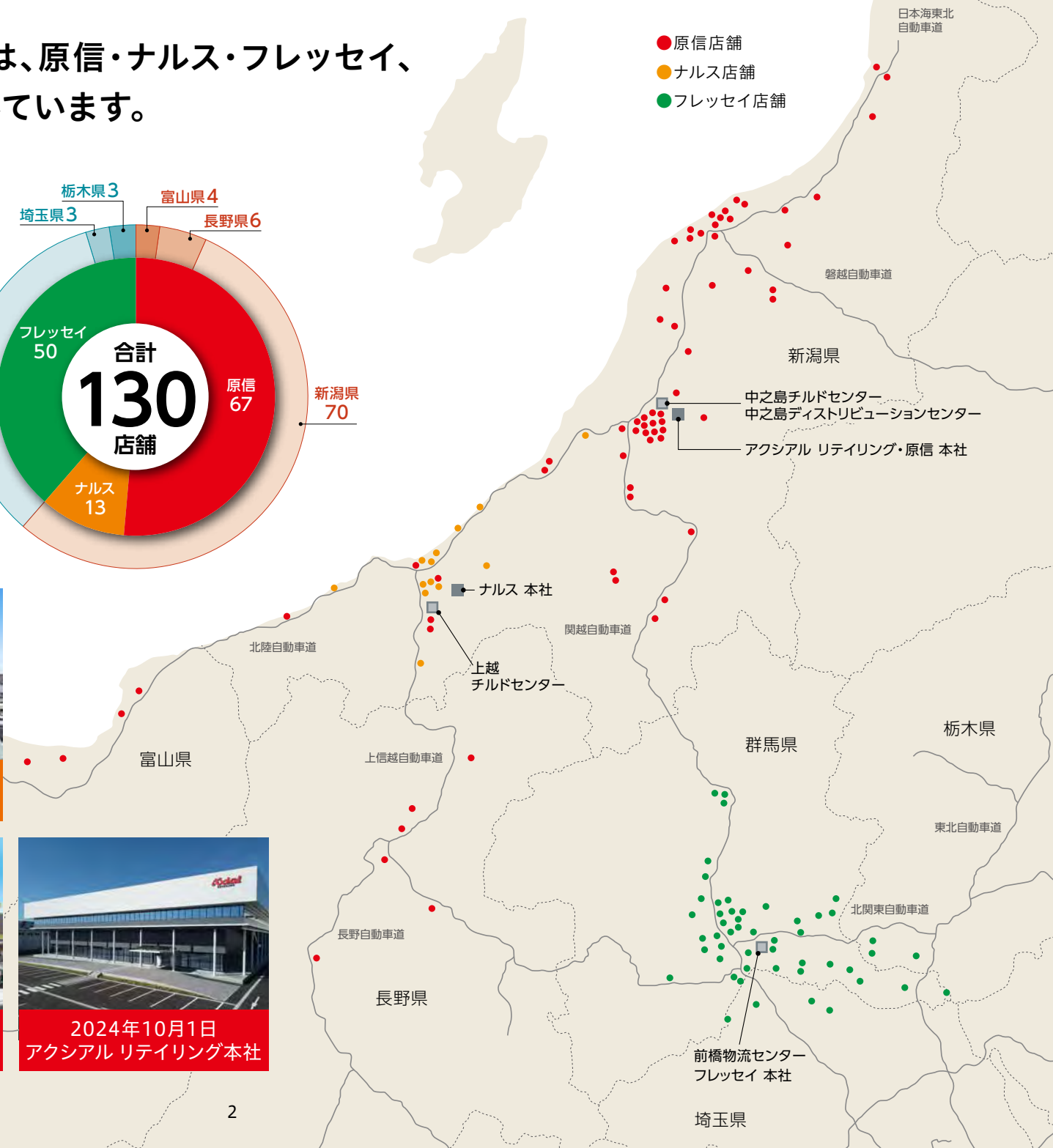
2024年11月20日 新店
原信 呉羽店



2025年3月20日 新店
原信 阿賀野店



2024年10月1日
アクシアル リテイリング本社



アクシアル ポリシー

グループ経営理念

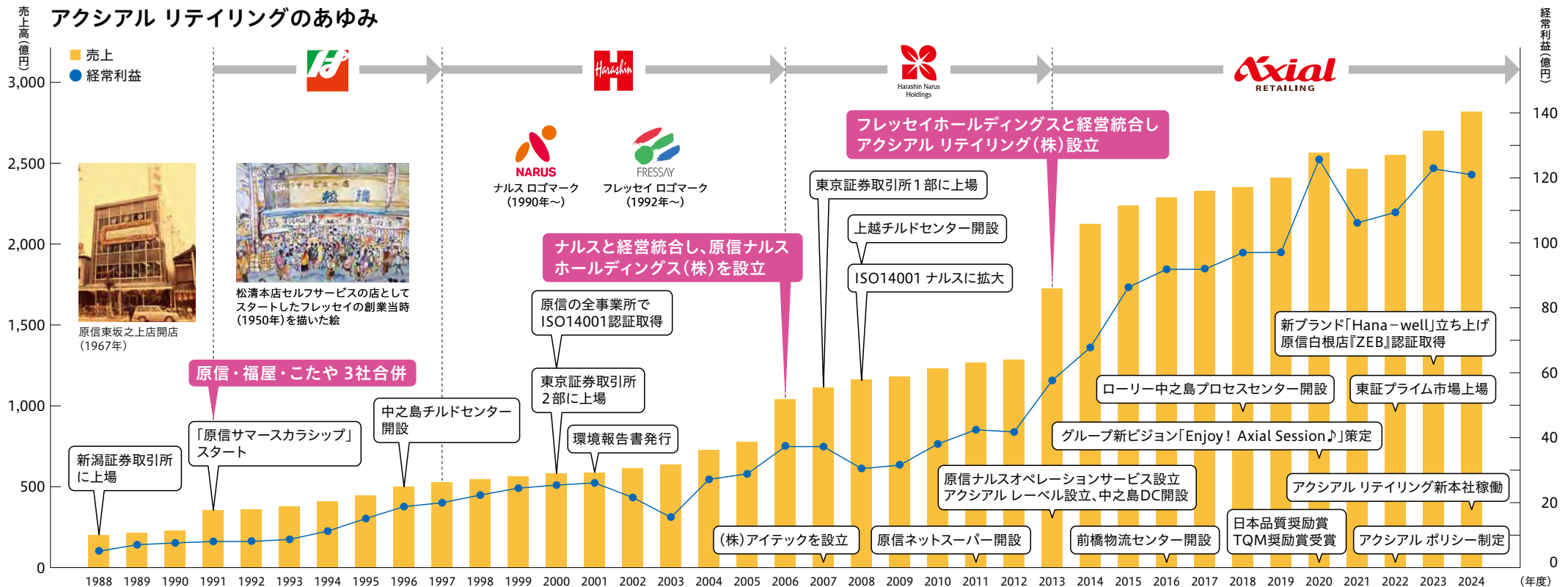
我々は
毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に寄与する
ことを目的とする。

経営原則

1. 高潔な企業風土をめざします。
2. TQMを経営の根幹にします。
3. 基本を徹底します。
4. マスメリットを追求します。
5. 持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 「判断の基準はお客様」です。
2. 安全を最優先します。
3. 全体最適で発想します。
4. 自己育成に努めます。
5. 人間性を尊重します。
6. チームワークを大切にします。
7. コミュニケーションを円滑にします。



経営基本方針

当社では、「経営理念」の実現を目指し、成長モデルとなる「グランドデザイン」を基に、中長期の方向性である「グループビジョン」、3年間のローリングによる「中期経営計画」そして「年度方針」へと複数の階層によって経営基本方針を構成しています。

目指す姿

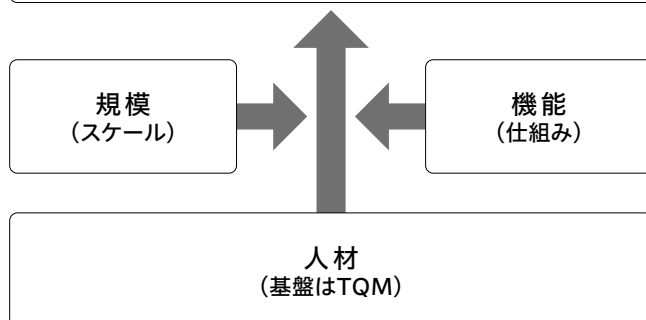
アクシアル リテイリング グループ経営理念

我々は
毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に寄与する
ことを目的とする。

成長モデル グランドデザイン

規模・機能・人材によってチェーンストアとしてのマスメリットを
創出し、お客様に「豊かさ」「楽しさ」「便利さ」をご提供します。

お客様に「豊かさ」「楽しさ」「便利さ」をご提供します。



目指す姿の実現に向けた方向性

中長期の方向性 グループビジョン



〈基本政策〉



〈キーワード〉



TQMが経営の根幹

中期経営計画

2027年度 売上3,100億円/140店舗

年度方針

『もっと おいしさがだまん中大作戦!!』
～ ”いかす“アクシアルへ ～
(インフラを活かす・人材を活かす・イカス!!アクシアル)

グループの力を結集し、地域とともに描く 持続可能な未来

アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長・CEO
原 和彦



このたび、第25版となる「CSRレポート2025」を発行いたしました。日頃より弊社の取り組みに温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2024年度は、円安や物価高による家計への負担が増す中、米国の関税政策の影響で輸出企業を中心に将来への不透明感が強まる厳しい環境が続きました。そうした中でも、私たちは食品スーパーマーケットとして、お客様に安心してお買い物を楽しんでいただけるよう、全社をあげて課題に真摯に向き合っておりましました。

アクシアル リテイリンググループは、グループビジョン「Enjoy! Axial Session♪」のもと、一体感の醸成とマスメリット創出に挑戦しています。2024年度には新本社移転を実現し、基盤強化と迅速な意思決定を図りました。これにより、効率的かつ柔軟な組織体制を整え、グループ全体のスピード感を高めることができています。

私たちは、豊かさ・楽しさ・便利さをお客様に届けることを使命とし、「品質経営」「環境経営」「健康経営」「技術革新」「人づくり」を持続可能な成長の柱に据えています。これらは企業としての成長のみならず、地域や環境への責任を果たすために欠かせないものです。

特に環境経営は重点分野です。再生可能エネルギーの活用を進め、持続可能な店舗運営を実現してきました。近年は太陽光PPAモデルを活用し、雪国特有の課題に挑む新技術の模索を進めています。雪が多い地域での再生可能エネルギー活用は難しいとされてきましたが、私たちはその課題に正面から向き合い、業界に先駆けた取り組みを行っています。

物流分野においても、モーダルシフトの推進や新技術の導入によって物流効率を高め、CO2排出削減とドライバー不足への対応を進めています。こうした取り組みは経済産業省・国土交通省が主催する会議で表彰を受けるなど、社外からも高い評価をいただきました。

また、2023年度に立ち上げたエシカル商品ブランド「Hana-well」は、順調に品揃えを拡大し、現在では160アイテム以上を展開しています。これからの企業は事業活動を営むにあたり、社会課題に前向きに対応を図っていかねばならないと考えています。「Hana-well」が当社の「事業と社会性の一体化」の象徴となっています。

さらに、社員一人ひとりの成長も大切にしています。健康経営を推進し、心身の健康を重視した職場環境整備や健康増進施策を進めています。キャリア支援や社内教育にも力を入れ、個々の力を最大限に引き出し、グループ全体の力を結集しています。

私たちは、地域密着型の出店や改装を進めることで、地域の皆様にとって身近で頼れる存在を目指しています。新たに開店した呉羽店や阿賀野店も、地域の暮らしを支える拠点として貢献してまいります。

これからも持続可能な社会の実現に向け、全社一丸で挑戦を続けます。本レポートが私たちの歩みをお伝えする一助となれば幸いです。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

重要な事項(マテリアリティ)とは

企業が持続可能な成長を遂げるために、経済・環境・社会の観点から特に重視すべき課題を指します。

ステークホルダーの関心と企業の事業戦略の両面から重要性を評価し、優先的に取り組むことで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

経営基本方針の実現を通じた 当社が解決すべき課題の特定プロセス



STEP
1

課題の抽出

当社グループでは、外部および内部の課題、利害関係者のニーズおよび期待を分析し、当社事業活動におけるリスクと機会の分析、課題を抽出しました。

STEP
2

課題の重要性評価

事業継続におけるリスクや事業成長を促す機会の観点で、課題の重要性を評価しました。

STEP
3

課題のマッピング・素案の作成

上記から抽出された重要課題について、当社の企業理念や目指す方向に照らし合わせ、マッピングを行い、そこから導き出される方向性を広報委員会の事務局にて素案として作成しました。

STEP
4

当社グループ有識者による審議

当社グループ全社の環境課題について討議するコンプライアンス委員会環境部会においてマテリアリティの素案について議論し、マテリアリティを特定しました。

マテリアリティ アクシアル リテイリンググループにとっての重要な事項(マテリアリティ)と主要な取り組み

前ページのプロセスを経て特定された当社グループにとっての重要な事項(マテリアリティ)と、それらに対応する主要な課題は以下のとおりです。

それぞれの取り組みは多岐にわたりますが、これらの重要な課題(マテリアリティ)を「商品」を通じて横断的に対応しているのが、エシカル商品「Hana-well」です。

	重要な事項(マテリアリティ)	マテリアリティに込めた思い	主要な取り組み
	安全・法令順守を前提とした ライフラインの提供	お客様・従業員の安全および法令順守を前提に、地域のライフラインとして信頼されるお店づくりを目指し、商品をお買い求めやすい価格で提供します。	■ 食の安全確保 ■ 商品の安定供給 ■ ESLP (Everyday Same Low Price) ■ 規模の拡大 ■ 災害時対応
	持続可能な社会に向けた 環境対応	気候変動への対応、循環型社会の実現等、持続可能な社会に向けた環境対応を行ってまいります。	■ 原信・ナルス ISO14001認証取得 ■ 温室効果ガス排出抑制 ■ 食品廃棄物の排出抑制 ■ プラスチックの使用量・排出量低減、リサイクル ■ 従業員への環境教育
	社会変化・技術革新への対応	お客様のライフスタイル・社会・競争環境の変化に対し柔軟に対応し、新たな技術に対しては果敢にチャレンジします。	■ 社会変化に対応した商品開発 ■ 新商勢圏への出店、ドミナントの形成、フォーマット開発 ■ ITの活用による業務効率化 ■ アプリの活用による利便性向上 ■ ネット販売の拡大
	包摂的な社会、健康的で より豊かな文化生活的実現	差別のない包摂的な社会の中で、お客様も従業員も健康的で生き生きと笑顔で生活できる環境づくりに取り組みます。また、従業員が成長や働きがいを実感し、イノベーションにチャレンジできる環境づくりを目指してまいります。	■ 働きやすい環境づくり ■ 多様な人材の採用・登用、教育、TQM、健康経営 ■ 地域貢献 ■ 地域の人材育成、健康配慮商品、健康イベント、文化・歴史の継承
	社会との共生	地域に根差したスーパーマーケットとして、お客様・取引先様・株主様・地域社会等との共生を目指すとともに、透明性の高いコミュニケーションを図ります。	■ フレンドリーサービス ■ 地域・取引先様との関係強化 ■ IR活動

■ エシカル商品
Hana-well



エシカル商品 Hana-well

Hana-well(ハナウェル)は、商品のおいしさを第一に、加えて体や心、地球にやさしいエシカル商品ブランドです。
商品それぞれが、社会課題に対応しています。

Hana-well 概要

Hana-wellは、「おいしさ」はもちろん、体と心、そして地球にも「やさしい」ため、ずっと使い続けたいと思っていただけるブランドです。

私たちは何よりも「おいしさ」を大切に、追求していく中で、その源となる素材の素晴らしさや、それが持つ意義の深さに気づきました。

世界が多くの課題に直面している今、私たちが開発する商品が、やがて大きな潮流となり、様々な問題解決の一助となり、現在と未来を変えていくと信じています。

次ページより、5つの軸で開発した商品の一部をご紹介します。



やさしい手(人)がつながって、
健康・福祉・幸福がある。
やさしい手(人)が花を植え、
地球に笑顔をもたらす。
わたしは、やさしい手の中に、
花ことばが幸福の意味を持つ花々
動物・魚・野菜・果物で
「はーと」を表現しました。
「はーと」には、
心・命・愛・地球の意味を込めました。



ロゴマークデザイン
アーティスト 田中 翠恵

Hana-wellで取り組む5つの軸

Earth

地球に優しく環境負荷を低減する商品をご提供します。

Healthy

体に優しく、心に癒しを与えてくれる商品をご提案します。

Local

地域で育まれた自然の恵みや文化の発信と継承に取り組みます。

Diversity

差別のない、笑顔がうまれる社会の実現を支援していきます。

Future

未来に向けた新技術に挑戦する取り組みを応援していきます。



<https://www.harashinnarus.jp/hanawell/>



エシカル商品 Hana-well Earth

地球にやさしく環境に配慮した商品をご提供します。

紀州南高梅種ぬき梅

消費量が減少している梅干しを様々な食シーンでご利用いただけるよう、種を抜いた形で商品化しました。種を抜くことで見栄えへの影響がなくなり、市場では流通しにくいサイズや等級を積極的に利用することもできました。

不要になった種は堆肥にリサイクルをして梅の栽培に再利用しています。おにぎりやお弁当、様々なお料理にも使いやすくおすすめの商品です。



シルクスイートのほしいも・南魚沼八色のわけあり干し椎茸

どちらもアクシアルPB商品の製造過程で生じる規格外品を活用しており、正規品だけでなく規格外品も無駄なく商品化することで食品ロス削減に努めています。

干し芋は、一部が硬く白化してしまった規格外品を細切りにすることで、硬さが気にならず、食べやすい商品にアップサイクルさせたものです。

干し椎茸は、新潟県のブランド野菜である「八色しいたけ」のなかでも、変形や欠けなどで生鮮品としては出荷できないものを乾燥させて干し椎茸にしたものです。



新潟県のお米と茶豆でつくった ふわっと

岩塚製菓(株)様の大ヒット商品「ふわっと」とのコラボレーション商品です。新潟県産茶豆の規格外品を有効活用しています。

茶豆を生地に練り込むことに加え、枝豆パウダーを生地にふりかけることで2層の味わいが楽しめます。新潟県産の甘みのあるお米を「米粉」にしてつくられた生地との相性も抜群です。

通常のふわっとよりもちょっぴり大きめなサイズと、シンプルな原材料により、素材のおいしさを最大限に活かしました。



新潟茶豆でつくったずんだあん

規格外の新潟県産茶豆をふんだんに使用し、茶豆の豊かな風味と香りを楽しめるずんだあんです。

新潟県は枝豆の作付面積が全国一で、県民は枝豆好きとして知られていますが、その裏では毎年「一つ豆」やさやの割れ・欠けなど、出荷規格を満たせず、市場流通できない規格外品が相当量発生しています。

その規格外茶豆をペーストにし、少量の白あんを加えたことで、控えめな甘さで素材の風味を最大限に活かしました。ペーストは冷凍保存により通年で商品化でき、食品ロスも可能な限り削減しています。



エシカル商品 Hana-well Healthy

体にやさしく、心に癒しを与えてくれる商品をご提供します。

有機麦茶

農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として生産された有機JAS認証の麦茶です。

カナダ国内でも日照時間が多く、栽培環境として適しているサスカチュワン州で栽培された六条大麦を使用。粉碎した麦と丸麦を併用することで、粉碎した麦のkok、丸麦の香ばしい香りを楽しめます。

また、一般的な麦茶よりも低温でじっくり焙煎することで、苦みを抑えて麦独特の甘みを引き出しています。夏だけではなく冬は煮出してホットでも美味しい麦茶です。

ノンカフェインですのでカフェインが苦手な方や、お子様でも安心してお召し上がりいただけます。



北海道産すり身のそのままおいしい生ちくわ

食品添加物「リン酸塩」不使用のすり身を使用し、利尻昆布を主としたシンプルな原材料で味付けをしたちくわです。

食感のよい北海道産スケソウダラ100%のすり身を使用しているので、そのままお召し上がりいただくことでプリッとした食感がお楽しみいただけます。

やさしい味付けなので、煮込み料理や炒め物といった様々な料理にご利用いただけます。



オーガニックアガベシロップ

アガベシロップとは、アガベ(和名リュウゼツラン)という植物から採れる100%天然の甘味料で、香料や保存料などの添加物は使用していません。

食後の血糖値上昇が緩やかな低GI食品なので、健康を気にされる方にもおすすめできるヘルシーな甘味料です。

クセがなく、どなたでも美味しくいただけるすっきりした甘さが特徴で、蜂蜜や砂糖の代わりとしてヨーグルトやコーヒー紅茶にお使いいただくのはもちろんのこと、水にすぐ溶けるのでお料理で砂糖やみりんの代わりにも便利です。また、蜂蜜のように低温で固まることがないので、使いたいときにサッとお使いいただけます。



TOPIC

試食会の開催

すべての従業員がHana-well商品が持っている背景やストーリー、社会課題を知り、誇りも持ってお客様に商品をおすすめできるよう、さまざまな方法で情報発信をしています。

2024年度は本社にて試食会が行われ、開発担当者の説明を聞きながら、商品の味を確かめる機会を設けました。



開発担当者による商品説明

エシカル商品Hana-well Local

地域で生まれた自然の恵みや文化の発信と継承に取り組みます。

やさしいあじわいヤスダヨーグルト ヤスダヨーグルト発酵バター使用ひとくちケーキ

生乳の生産量と需要のバランスが崩れると酪農の経営状態は厳しくなります。安定的な消費拡大に貢献したいとの思いから、生乳を無駄なく利用できる商品を開発しました。

やさしいあじわいヤスダヨーグルトは新潟県産の生乳でつくられた、すっきりとして飽きのこない味わいが特徴の、無脂肪タイプの飲むヨーグルトです。2024年よりストローの添付をやめ、プラスチック製力トラリーの削減にも努めています。

また、「発酵バター」も無駄なく利用、ひとくちタイプのケーキに仕上げました。原料には新潟県産の米粉や卵、笹川流れの塩を使用しています。



新潟県産大豆のとちお油揚げ

とちお油揚げは、新潟県長岡市栃尾地域に江戸時代より伝わる肉厚で大きな油揚げです。その油揚げを伝統的な製法と、古くより使用されてきた新潟県産大豆で再現することによって、昔ながらの極厚造りに仕上げました。

油揚げを半分にスライスして切り開き、納豆やキムチ、ネギ味噌などの具材を挟んで焼くと、外は「カリッ」と、中は「ジュワッ」とした食感が味わえます。地域の企業様と「伝統とおしさをつながたい」という思いでつくり上げた商品です。



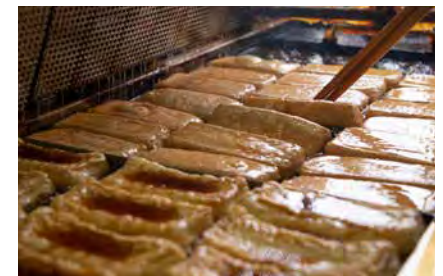
VOICE

昔ながらの『とちお油揚げ』をお客様に届けたい、そんな共通の想いでエシカル商品企画部の板倉さんと開発を行いました。原料の大豆は新潟県産エンレイ大豆にこだわり、揚げ油は油切れの良さで知られ、揚げ物に最適な菜種油赤水を使用。厚みのある油揚げをロにした瞬間に感じる油の風味にコクや深みを持たせました。

製法にもこだわり、揚げる前の豆腐は一晚掛けて水分を飛ばし、揚げる時は1枚1枚丁寧に手作業でじっくり揚げています。

地元の栃尾の皆さんにも反響をいただいている『とちお油揚げ』。ぜひご賞味ください。

小林総本舗有限公司
取締役営業部長 小林政敏様



丁寧に手揚げされる油揚げ



小林総本舗 小林様とエシカル商品企画部板倉MD

エシカル商品Hana-well Diversity

差別のない、笑顔がうまれる社会の実現を支援していきます。

ご家庭にアートを

何気ない日常の中で目にする商品パッケージに素敵なアート作品を取り入れることで、食卓が小さな美術館になります。日々の生活に彩りを添えられるよう、パッケージには『まちごと美術館cotocoto』に所属されている障がい者アーティストの皆さんの作品を使用しています。

伝えたい想いが素直に表現された『無垢の』アートは、見る人の心を揺さぶります。



原信ミュージアム

まちごと美術館cotocoto様との協同で、お店のカフェコーナーにて原信ミュージアムを開催しています。現在新潟市、長岡市、柏崎市、南魚沼市、燕市の14店舗で開催しており、障がいをお持ちの方が制作したアート作品を展示しております。



原信吉田店での展示

VOICE

障がい者施設に飾られた素敵なアートとの出会い。これが『まちごと美術館cotocoto』の始まりのきっかけです。みなさんが思っている以上に障がいがある人は身近にたくさんいます。いろいろな特性をもった個性豊かなみなさんの才能が就労につながってほしい、そんな思いから障がい者アーティストのアート作品のレンタル事業を開始しました。

慈善活動ではなく、自立した活動となるために、アーティストとして所属するには一定の基準を設けています。このクオリティを維持し続けていることが、事業の広がりにつながっていると考えています。

所属している方のご家族からは「自分の子どもも経済の輪に入ることができたことが嬉しい」「自分の子どもの未来が明るくなった」というお声をいただいております。

Hana-well 商品を通じて、アートがより日常に溶け込み、アートであふれる優しい時間が全国に広がっていくよう、これからも活動を続けます。

まちごと美術館cotocoto 高橋 亜紀様



アーティスト大森真奈様と高橋様 Hana-wellコーナーにて

エシカル商品Hana-well Future

未来に向けた新技術に挑戦する取り組みを応援します。

青森の里りんご～PROJECT TO SAVE FARMERS～

日本の農業は異常気象や後継者不足など厳しい環境が続いています。そんな農家様のお役に立てないかという想いからプロジェクトがスタートしました。

青森のりんご農家様では、果実の「選別作業」に多くの労力が費やされており、さらに、おいしくても、果実の形や色が悪いと選別ではじかれてしまい市場で流通することがない現状を知りました。

農家様の手間を少なくし、さらに見た目に関係なくおいしいりんごをお客様に届けたい。そんな想いで無選別りんごの販売をスタートしました。

今後もこの取り組みをきっかけに、他の商品でも同じような広がりができるように進めています。

VOICE

りんごは見た目の問題から良品も規格外品も味は変わらないことをお客様に伝えたくても上手く伝えられないのが一番難しい問題と考えています。「こんなにおいしいのに」「色が悪いだけなのに」「個性的な形になっただけなのに」そんな思いを選別時いつも感じていました。

昨今の温暖化の影響で生産量減、高齢化による人手不足でりんご作りも大変困難になってきました。周辺でも離農している人が増えています。そんな中、無選別りんごの企画は現代に合った農家のために寄り添ってくれる企画だと感じています。

「つくる私たち」「つなぐ山 口さん、原信・ナルスの皆様」「食すお客様」

みんなが笑顔になれる企画を考案していただき本当にありがとうございます。今後30年りんご作りをしていける自信が持てました。

葛西りんご園 葛西康史様



葛西りんご園葛西様と商品本部山口青果チーフバイヤー

Hana-wellとR10プロジェクトの関わり

新潟県が推進する「R10(アールテン)プロジェクト」は、食料自給率の向上を目指し、輸入小麦粉の消費量の10%以上を国産の米粉に置き換えることを目標にした取り組みです。

原信ナルスオペレーションサービスはこの趣旨に賛同し、2024年に「R10プロジェクト」応援企業に加わりました。

これまでHana-wellでは「米粉」や「新潟県産お米パン」、「米粉でつくったスイーツ」などを開発・販売してきましたが、今後も米粉を使用したおいしい商品の開発を通じて米粉の普及に努めてまいります。



ミライヤサイ季節のサラダセット

アクアポニックスと呼ばれる循環型の持続可能な農業システムで栽培されたサラダ野菜を彩り良くセットにした商品です。

アクアポニックスでは、魚を育てる水槽と植物を育てる水耕栽培システムがつながっています。水中の魚の排泄物が微生物によって分解されて植物の養分となり、植物がその養分を吸収することで水が浄化され、魚にとっても快適な環境が維持されます。この自然の循環により、化学肥料や大量の水を使わずに、効率的かつ環境への負荷を低減した形での生産が可能になります。

室内栽培で気温や降水量などに左右されず安定した収穫が期待できる、この新しい農業システムに取り組まれている地元新潟県長岡市の企業様を応援する意味も込めた商品です。



もっと おいしさがドまん中へ！

当社独自の、美味しさにこだわった商品の開発で、お客様に更なる豊かさ、楽しさをご提供します。



おいしさにこだわった商品の開発

アクシアル リテイリングでは「おいしさ」を大切にしています。

当社の「おいしさ」の特徴は毎日食べても飽きのこないおいしさです。控えめですが、しっかりと感じられるおいしさを大切にしています。

そのこだわりの商品の代表が手造りおはぎです。1985年におはぎの名店として名高いスーパーマーケット「さいち」様に学び、当社にて毎年改良を加え、当社の名物商品となりました。おはぎに最適な北海道産「えりも小豆」をじっくりと大釜で炊き、ひとつひとつ丁寧に包み込んだ甘さ控えめな自慢のおはぎです。



おいしい商品を世界中から

アクシアル レーベルでは、グループのマスメリットを活かし自社直輸入の拡大を進めています。

輸入商社を通さず食品やワイン、冷凍食品の直輸入をすることで世界中のおいしい商品をお手頃な価格でお客様にお届けしています。



※写真の商品は一例。

健康的でおいしい食のご提案

お客様の健康を食から支えるため、健康ニーズにお応えする商品の開発とラインアップの充実に力を入れています。

だし香るシリーズ

塩味を抑えながら、だしの旨みで味を調える健康商品シリーズ。多くのカテゴリーに波及し、アイテム数は190超。



うおさいや 魚菜屋・魚の匠

体に良いことは分かっているけど、調理の手間がかかる魚料理を簡単に召し上がっていただけるお惣菜シリーズ。



365×3 サラダライフ

365日、毎日三食サラダを召し上がっていただけるよう、青果・精肉・水産部門などが連携したひと手間加えたこだわりサラダ。



極醸シリーズ

味噌・麹・ヨーグルトなど発酵食品に漬け込んだ漬け魚・味付け肉を中心とするシリーズ。惣菜・弁当も提供。



普段づかいのスーパーマーケットとしてご利用いただくために

アクシアル リテイリングのスケールメリットを最大限に活かし、よりお求めやすい価格と、快適にお買い物いただける売場を実現します。

ESLP (Everyday Same Low Price)

近年、商品の値上げが続く中、アクシアル リテイリングでは、グループのマスメリットを活かし、いつご来店いただいても、お買い求めいただきやすい価格を提供するESLPを目指しています。

今後は、価格強化、生鮮商品や住居品への拡大も実施し、よりお客様からご支持をいただけるよう努めてまいります。

また、当社グループのスーパーマーケット3社は、全国のスーパーマーケットと共同仕入れを行うCGCグループに加盟しています。国内最大規模の共同仕入れ網を活かし、当社グループだけでは実現できない、マスメリットを活用しています。

POWER PRICE

オリジナル商品を中心に長期間お求めやすい価格をお約束する販促。



アクシアルブランド

価格・品質にこだわったプライベートブランド商品。



Long Run Price

価格感度の高い商品を中心に特売並みの価格を一定期間提供する販促。



CGC商品

国内最大規模の共同仕入れ機構CGCの商品。



多様な店舗フォーマットの展開



ニューコンセプトII+ (ツー・プラス)

新しい商品・売場展開、垢ぬけた売場、生産性の向上をテーマに掲げた「ニューコンセプトII」をさらに進化させ、「豊かさ」「楽しさ」「便利さ」をご提供する店舗フォーマットです。



セントラルマーケット

広い売場面積・駐車場と広い商圏を持つことを条件に、専門性、ライブ感、情報発信のコンセプトで商品と提案を磨き上げたお店です。



エクスプレスマーケット

人口減少・少子高齢化や女性有職率の増加という環境変化に合わせ、即食・簡便ニーズに対応した商品を品揃えし、短時間でお買い物ができるお店づくりを目指しています。



「豊かさ」「楽しさ」「便利さ」をご提供するため、おいしさ、健康生活、簡単・便利、ローカルのテーマを軸としたお店づくりを進めています。



規模・機能を活かしたおいしさの磨き込み

規模や機能をフル活用し、おいしさに磨き込みをかけてまいります。

おいしさ企画化計画

アクシアル リテイリングでは、3シーズン先を見ながら商品の調達や開発をすすめています。
この取り組みにより、当社独自のこだわりや特徴を持った商品が数多く開発されました。
2024年度には300を超える商品が発売されました。



加工センターの機能強化

当社グループではローリーが製造機能を有しており、フレッシュ店舗向けの一部生鮮品は、フレッシュ本部のプロセスセンターで製造・加工することで、鮮度と品質をより確実にしています。

これにより、時間が経ってもおいしさと品質を保てる商品が供給でき、また店舗の作業効率化にも貢献しています。



本社設備を活用したおいしさの磨き込み

よりおいしい商品づくりを目指し、アクシアル リテイリング本社に新しい設備を導入しました。

- 店舗と同じ設備や、未来を見据えた商品の研究開発が行える設備を備えたMDラボ
- 家庭と同じ調理器具を備えたはらナルキッチン
- 味を科学的に評価する官能評価室
- 商品の安全・安心を担保する食品検査室



はらナルキッチン

おいしさの磨き込みで栄誉ある賞を受賞



環境経営

アクシアル リテイリングでは、グループビジョンの基本政策に「環境経営」を掲げ、温室効果ガス排出削減、使い捨てプラスチックの削減・リサイクル、食品廃棄物の発生抑制・リサイクルなどを通じて、環境への負荷をできるだけ減らし、持続可能な社会の実現を目指します。

重点分野

アクシアル リテイリングは、持続可能な社会の実現に向けて、3つの柱を中心に取り組みを推進しています。

温室効果ガス排出削減

- 太陽光パネル設置／『ZEB』認証の取得
- グリーン冷媒の使用推進／店舗配送におけるエネルギー削減
- モーダルシフトの推進

使い捨てプラスチックの削減・リサイクル

- レジ袋・カトラリーの使用量削減
- 商品の包材に使われるプラスチック使用量削減
- 廃発泡スチロールのリサイクル
- 店頭での資源回収・リサイクル

食品廃棄物の発生抑制・リサイクル

- 食品廃棄物の削減
- 食品廃棄物のリサイクル

ISO14001認証取得

2000年に日本の食品スーパーマーケットで初めて、全事業所を対象に、原信が環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得して以降、全社で環境改善活動に取り組んでまいりました。2008年にはナルスにおいても認証を取得しています。



ISO14001 登録証

環境活動のあゆみ

1990年	牛乳パックの店頭回収を開始(原信・フレッセイ その後ナルスも実施)
1991年	発泡トレの店頭回収を開始(原信・フレッセイ その後ナルスも実施)
1992年	レジ袋をご辞退されたお客様へのスタンプ制度開始(原信)
1997年	行政の回収拠点としてペットボトルの店頭回収を開始(原信・ナルスの一部店舗)
1999年	廃油の飼料へのリサイクルを開始(原信) 魚箱などの発泡スチロールのリサイクルを開始(原信 その後ナルス・フレッセイも実施)
2000年	原信店舗・中之島物流センター・原信本部の全事業所でISO14001の認証を取得 食品廃棄物の飼料へのリサイクルを開始(原信の一部店舗 その後各社でリサイクルの取り組みは拡大)
2001年	環境報告書発行(原信) レジ袋の店頭回収を開始(原信からスタート その後ナルスも実施)
2002年	津南持続循環農業を開始(原信の一部店舗)
2008年	ナルス全事業所でISO14001の認証取得 「リユース! レジ袋」の開始
2009年	透明容器の店頭回収を開始(原信・ナルス・フレッセイ) ペットボトルキャップの店頭回収を開始(原信・ナルス)
2010年	第四銀行様「だいし環境格付」において最高ランクの格付けを付与される アルミ付き紙パックの回収開始(原信・ナルス)
2011年	新潟県優良事業所表彰授与
2012年	古紙の店頭回収を開始(フレッセイの一部店舗)
2013年	3R推進功労者等表彰会長賞受賞
2014年	新店舗建屋内の全照明をLED化
2017年	自然冷媒を使用したショーケースを一部店舗に設置
2020年	レジ袋の有料化。バイオマスプラスチックを使用したレジ袋の導入 店舗の屋根にて太陽光発電を開始(フレッセイの一部店舗 その後原信・ナルスにも拡大)
2021年	第1回新潟SDGsアワード大賞受賞
2022年	プラスチック製スプーンの有料化。バイオマスプラスチックを使用したスプーンの導入 サステナブル・リテイリング表彰第1回総合賞受賞
2023年	スーパーマーケット業界初となる『ZEB』認証取得(原信白根店)
2024年	TPOモデルによる建物間融通モデル創出事業の取り組みの開始

温室効果ガス排出削減～省エネ～

アクシアル リテイリングは、新店オープンや既存店の改装に合わせ、省エネ設備設置・更新を進めています。

ノンフロン機器

アクシアル リテイリングでは、店内のショーケースで使用されているフロンの漏えい量を管理するとともに、地球温暖化やオゾン層破壊への影響が少ない自然冷媒を使用したショーケースの導入を進めています。



扉付きの冷凍ケース

冷凍食品のショーケースは、エネルギーを無駄にしないため、扉付きのショーケースの導入をすすめています。

ショーケースからの冷気の漏れによる店内の寒さ対策にも役立っています。



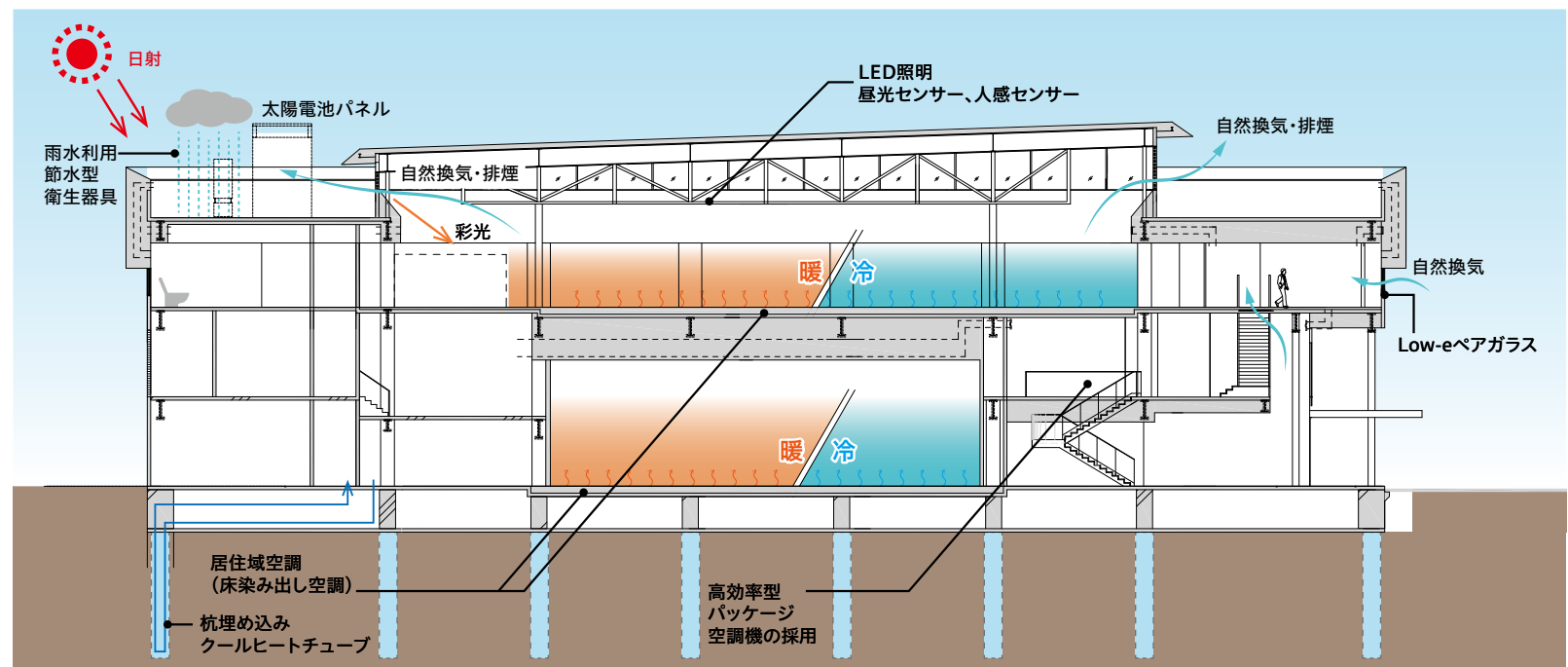
環境に配慮した本社建築

2024年に新本社が稼働しました。

新本社は、高効率型パッケージ空調の採用、自然光による採光等の省エネにより、基準一次エネルギー消費量から51%削減を達成し、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）認定の最高評価（五つ星）を獲得するとともに、ZEB Ready*認証を取得している建築物です。

また、大規模自然災害、火災などに十分耐える構造を具備しています。

※ZEB Ready:『ZEB』（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物」と定義されており、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物を指します。



主な特長

- 電気：昼光センサー、人感センサーの採用、エコケーブルの採用、LED照明の採用など
- 機械：温度湿度個別コントロール空調の採用（執務室）、全熱交換器による換気の採用、節水型衛生器具の採用、排気ファンの人感センサーによる発停制御、高効率型パッケージ空調機、雨水利用設備の採用、エネルギー管理システム（BEMS）の採用

温室効果ガス排出削減～エネルギー収支ゼロを目指した店舗～

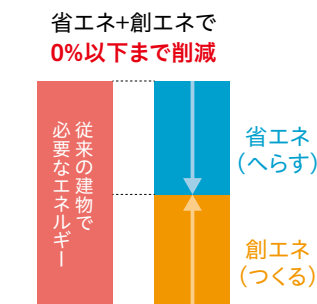
消費するエネルギーを減らすための設備、エネルギーを創るための設備の導入により、ZEBを実現しています。

ZEBとは

Net Zero Energy Buildingの略で「ゼブ」と呼ばれます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー^{*}の収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

省エネ(エネルギーを効率的に使用してムダな消費を減らすこと)と創エネ(電気を自ら創る取り組み)によって、年間の一次エネルギー消費量が、正味ゼロまたはマイナスとなる建築物が『ZEB』として認証されます。

※一次エネルギー：石油、天然ガス、石炭、薪、水力、原子力、風力、潮力、地熱、太陽光、牛糞など、自然から直接採取できるエネルギーを指します。



BELSとは

Building-Housing Energy-efficiency Labeling Systemの略で、「ベルス」と呼ばれる建築物省エネルギー性能表示制度です。

建築物の性能を評価する項目には、エネルギー性能を重視するもの、総合的な環境性能を評価するもの、快適性や健康等に注目するものなどがあり、BELSはこのうちの『エネルギー性能』のみを評価する制度です。

なおZEBとBELSの評価は同じBEI^{*}という指標が用いられています。BELSではBEIの値によって星の数で5段階評価が行われ、BEI1.0以下では星2つ、BEI0.8以下では星3つというように、性能が良いほど星の数が増えていく仕組みです。

※BEI：建築物のエネルギー効率を示す指標で、省エネ性能を表す数値です。この数値は、設計された建物がどれだけエネルギーを効率良く使っているかを評価するためのもので、BEI値が低いほどエネルギー効率が良いという証明になります。



原信 白根店



BELS認証

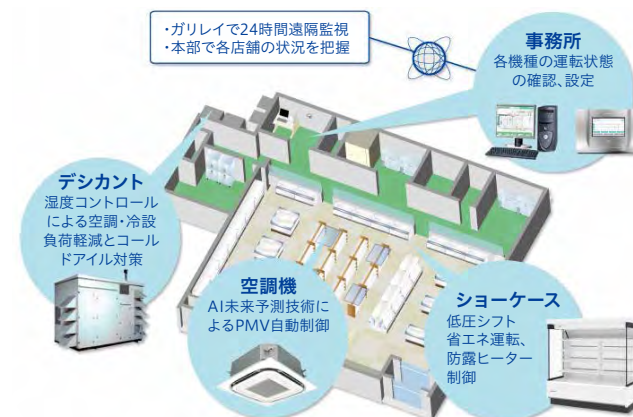
原信 阿賀野店(新潟県阿賀野市)

2025年3月に開店いたしました原信 阿賀野店では、建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)による5段階評価の中で最高ランクであり、省エネ達成度ランク最高位の『ZEB』認証を取得しました。

なお、『ZEB』認証の取得は、スーパーマーケット業界で初取得となった原信 白根店(2023年11月オープン)について2店舗目となります。



原信 阿賀野店



イメージ図はフクシマガリレイ(株)様ご提供

主な特長

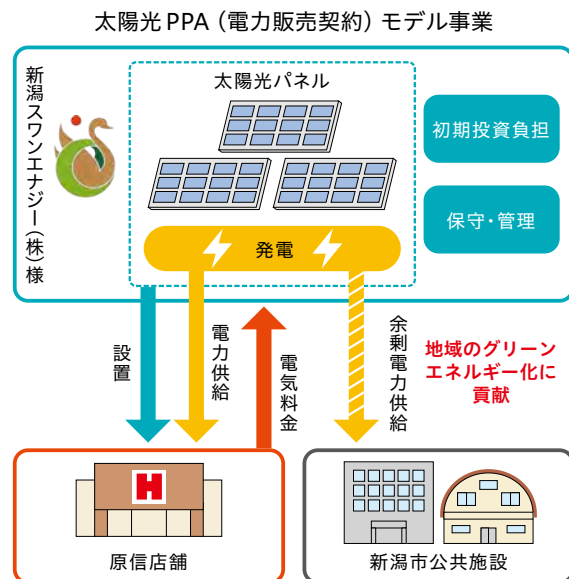
- AI自動制御
冷凍冷蔵機器、エアコン、換気、デシカント等をAI自動制御し、トータルエネルギーの最小化を行います。
- PMV制御
快適性評価指標(PMV)に基づく空調制御による環境最適化。
※PMVは人間が感じる温冷感の指標。
- 店内環境改善
デシカントによる湿度コントロールで空調・冷凍冷蔵設備負荷軽減とコールドアイル対策を実現。結露対策やカビ対策も実現。
※コールドアイルとはショーケースの前面の足元に冷気だまりが出来る現象。
- 省エネ性
夏場の従来店より20%以上省エネを実現。
※売場面積2,000㎡規模のスーパーマーケットの実績。

温室効果ガス排出削減～創エネ～

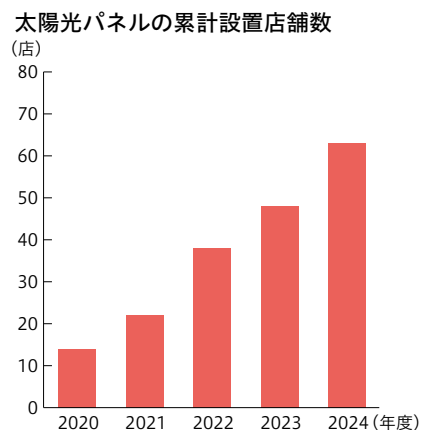
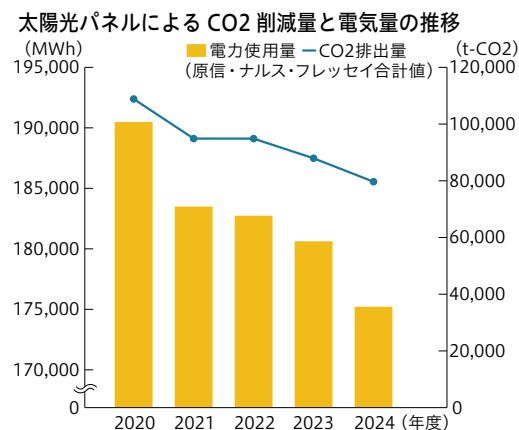
私たちは環境負荷低減の取り組みとして再生可能エネルギーへの転換を進めています。

地産地消型再エネ

地域新電力会社である新潟スワンエナジー（株）様と展開している太陽光PPA（電力販売契約）モデルでは、店舗で使いきれない余剰電力を新潟市の公共施設に提供し、地域で活用いただく取り組みを行っています。今後も地域一体となったCO2排出量削減に貢献してまいります。



太陽光パネル設置による電気使用量とCO2排出量の推移

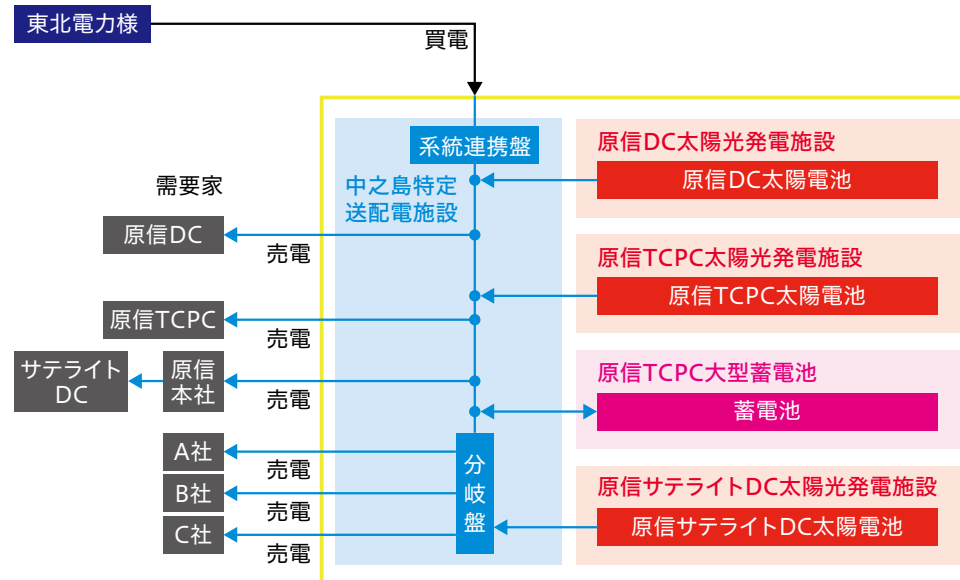


TPOモデルによる電力の融通と非常時の電力供給

当社は、環境省の「再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業」に参画し、新潟県長岡市中之島地区において、TPO（第三者保有）モデルによる建物間電力融通の取り組みを進めています。

本事業では、当社グループの3施設と隣接する取引先企業の3施設、計6施設を自営線で接続し、太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車（EV）を活用して建物間での電力融通を実現します。これにより、外部からの電力調達量を削減し、温室効果ガス排出量の低減を目指します。さらに、EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、電力の需給を最適に制御することで、エネルギーの効率的な利用を推進します。

加えて、災害時には蓄電池を活用することで、停電時でも施設の一部機能を維持できます。また、EVの電力を活用することで地域住民への支援が可能となります。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に向けたエネルギーの地産地消を推進し、環境負荷の低減と地域の防災力向上を両立させるモデルを構築してまいります。

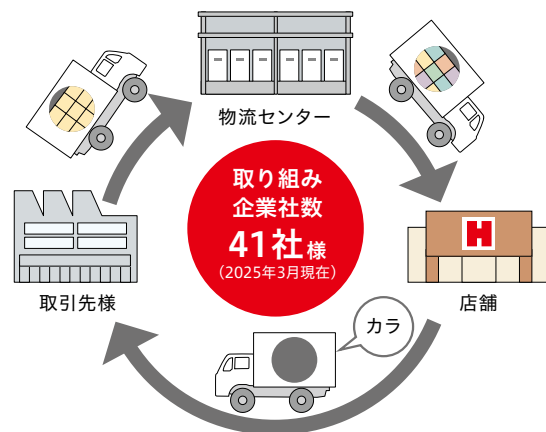


温室効果ガス排出削減～物流～

商品の仕入れからお店に商品が並ぶまで、物流網全体で輸送エネルギーを削減し、温室効果ガス排出削減への取り組みを進めています。

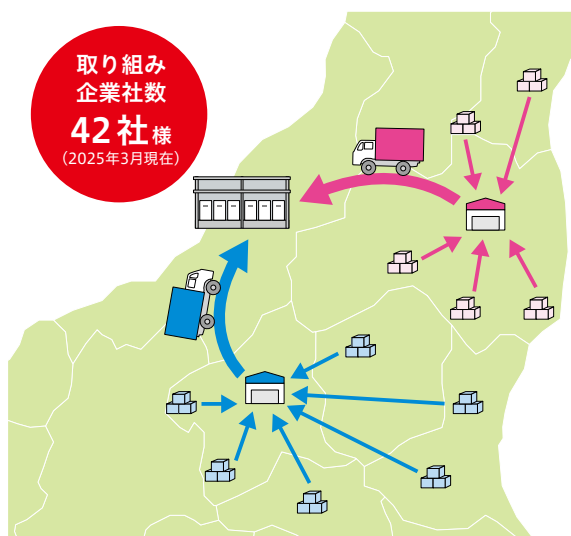
戻り便の活用

物流センターから店舗に商品を納品したあと、荷台が空になって戻るトラックを活用し、店舗近隣のお取引先様の商品を引き取って物流センターに納めます。この取り組みにより輸送効率が向上します。2024年度は地球約52周分の走行距離削減になりました。



遠隔地からの共同配送

関東・東北地方の2ヶ所に中継物流センターを設置し、当該エリアのお取引先様の商品を一時的に集約しています。2つの中継物流センターからまとめて新潟県に運ぶことで燃料の使用量削減や、ドライバーの労働環境改善に努めています。グループ全体で最適な事業運営ができるよう、物流拠点間の連携も強化してまいります。



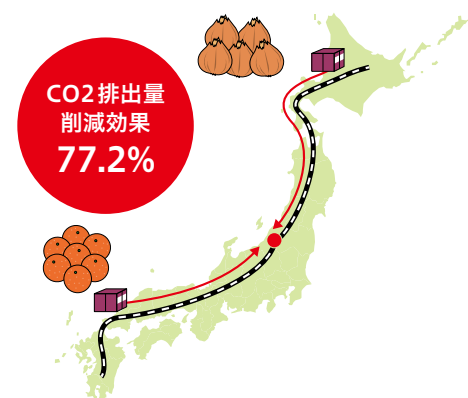
モーダルシフトで2賞受賞

グリーン物流パートナーシップ会議特別賞受賞(2024年12月23日)

原信とナルスでは、CO2排出量削減を目的としたモーダルシフトを、シジシージャパン様他5社協働で導入しています。

気候変動で玉ねぎなどの国産農作物が凶作になった場合に、オーストラリアなどから各社分をまとめて輸入・加工したのち、北海道、広島、新潟にある各社の配送拠点まで鉄道輸送を行うスキームを構築した取り組みです。

この取り組みが評価され「令和6年度グリーン物流パートナーシップ会議 物流パートナーシップ優良事業者表彰」において、2年連続3回目の受賞となる「グリーン物流パートナーシップ会議特別賞」を受賞しました。



モーダルシフト優良事業者大賞表彰 革新的取組み部門賞受賞(2024年12月9日)

トラック輸送時に2回必要だった積替え・中継作業(海上コンテナ→トラック→トラック)を、モーダルシフトにより、海上コンテナから12ft鉄道コンテナへの1回だけの積替えで各社の配送拠点までの直接輸送、輸送の効率化を実現した取り組みです。

一般社団法人日本物流団体連合会主催の「第1回モーダルシフト優良事業者大賞表彰」において「革新的取組み部門賞」を受賞しました。また、鉄送距離を年間1万9,514km削減し、CO2排出量に関しては年間19.9t-CO2削減しました。



表彰式(中央は商品本部 山口青果チーフバイヤー)

TCFD提言に基づく情報開示

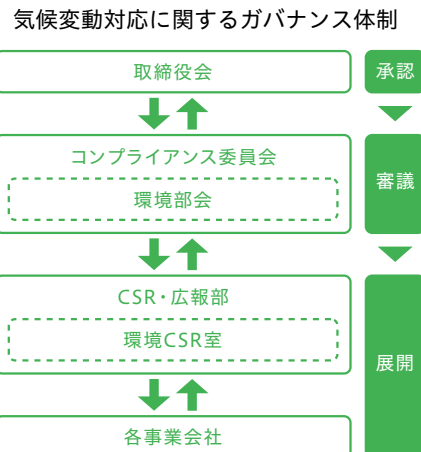
アクシアル リテイリングでは、気候変動に起因する環境問題は喫緊の課題であると認識しています。

国際的に確立された開示の枠組みであるTCFD提言を気候変動対応の適切さを検証するガイドラインとして活用し、情報開示を行ってまいります。

ガバナンス

気候変動対応は、グループ全体で取り組むべき重要課題の一つと考え、取締役会による監督と環境部会を中心とするガバナンス体制を構築しています。

取締役会は、気候変動対応全般に関するリスクおよび機会の監督に関する責任と権限を有しており、各種会議体、委員会等で審議、協議された内容の報告を受け、当社グループの気候変動によるリスクおよび機会への対応方針および実行計画等についての審議、監督を行っています。



戦略

当社は、SBT目標設定年度である2030年度を見据え、気候変動がもたらす異常気象などの「物理リスク」、政策規制の導入及び市場ニーズの変化などの「移行リスク」について検討を行いました。検討の結果、特定した気候関連リスク及び機会は、当社の戦略や施策に反映のうえ対応します。

当社グループは、スーパーマーケット事業を主要事業としており、当社グループの事業全体の売上高および営業利益に対し、同事業の売上高および営業利益は、いずれも9割超を占めています。シナリオ分析をするにあたり、このような理由から、スーパーマーケット事業を検証の対象事業としています。

また「2℃上昇のシナリオ」「4℃上昇のシナリオ」の2つのシナリオについて、2030年時点の影響を分析、分析では国際エネルギー機関(IEA)の「WEO:World Energy Outlook(世界エネルギー展望)」で示されているシナリオや「IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change(気候変動に関する政府間パネル)」の報告書等を参考にいたしました。

気候関連リスク・機会項目とインパクト評価

区分	タイプ		時間軸	重要なリスク 機会事項	発生する可能性 のある事象	財務インパクト (上昇シナリオ)		検討している 対応策
						2℃	4℃	
リスク	物理的 リスク	急性	中期	異常気象の発生割合・ 深刻度の増加	保有する財産・資産への 被害の発生	小～中	大	BCP対策の再構築 や災害発生時の施 設維持
					気象災害によるインフラ の損害等や調達先の被災 による商品の調達にリス クを及ぼす			
		慢性		平均気温の上昇	飼料・畜産物生産量・漁 獲量が変動し、価格に影 響を及ぼす可能性がある	小～中		産地・取引先等の 分散化
				海面上昇	沿岸の施設・設備が被害 を受け、物流網の問題が 発生			
	移行 リスク	政策 法規制	短期	電力小売価格の変動	電力料金の支払い増	大	小	店舗の設計の見直 し・新技術導入に よる省エネ・創エ ネの推進
				低炭素な新しい生産技術 の開発	自然冷媒を用いた設備機 器など、新技術の設備投 資の増加			
中期			炭素税課税	炭素税課税による 税負担増	19.3※ 億円	17.1※ 億円		
機会	資源効率化		短期	低炭素な新しい生産技術 の開発	省エネ設備の導入拡大 等によるエネルギー使 用量削減・再生エネル ギー導入	大	小	新技術導入による 省エネ・創エネの 推進
	市場			消費者嗜好の変化	低炭素製品・サービスに 対する需要変化への対応	小～中	大	エシカル商品Hana- wellや環境に配慮し たオリジナル商品の 開発・販売推進

※炭素税価格想定：(2℃シナリオ)2030年 US \$135/t CO2(4℃シナリオ)2030年 US \$120/t CO2(IEA World Energy Outlook 2023)から引用、為替レートは US\$1 = 149 円(当社 2025 年 3 月期の平均値を採用)と仮定。Scope1、2 を対象とし、環境マネジメントシステムの運用により2025 年 3 月期よりも6%温室効果ガスが削減されると仮定。

TCFD提言に基づく情報開示

リスクマネジメント

当社の気候変動問題に関するリスクマネジメントは、取締役会がそのリスクおよび機会の監督に関する責任と権限を有しています。特に全グループの気候変動については、コンプライアンス委員会内の環境部会において年に6回審議・協議されており、取締役会はその内容の報告を受け、当社グループのサステナビリティのリスク管理を行っています。

指標と目標

当社は、気候関連リスク・機会を管理するための指標として、Scope1・2・3排出量を指標として定めています。

また目標については、国の削減目標に基づき削減を進めており、ISO14001の認証取得をしている株式会社原信と株式会社ナルスにおいては、具体的な数値目標を掲げ、達成状況についてモニタリングしています。

※集計における参考資料、出典

- ・「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位について(Ver.3.5)」(環境省)
- ・「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.5)」(環境省)
- ・温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度における算出方法・排出係数一覧(環境省)

GHG排出量

分 類		2023年度		2024年度	
		排出量(CO ₂ -t)	割合(%)	排出量(CO ₂ -t)	割合(%)
スコープ 1	直接排出	28,941	1.80	23,586	1.31
スコープ 2	エネルギー起源の間接排出	80,109	4.97	78,371	4.35
スコープ 3	[カテゴリ 1] 購入した製品・サービス	1,193,449	74.05	1,242,374	68.94
	[カテゴリ 2] 資本財	38,565	2.39	174,735	9.70
	[カテゴリ 3] エネルギー関連活動	12,735	0.79	12,459	0.69
	[カテゴリ 4] 輸送、配送(上流)	56,691	3.52	61,161	3.39
	[カテゴリ 5] 事業から出る廃棄物	1,847	0.11	4,080	0.23
	[カテゴリ 6] 出張	73	0.00	85	0.00
	[カテゴリ 7] 雇用者の通勤	10,579	0.66	10,649	0.59
	[カテゴリ 8] リース資産(上流)	排出量が小さくサプライチェーン排出量全体に与える影響が小さいため算定しない			
	[カテゴリ 9] 輸送、配送(下流)	176,640	10.96	183,019	10.16
	[カテゴリ10] 販売した製品の加工	必要なデータ収集が困難なため算定しない			
	[カテゴリ11] 販売した製品の使用	排出量が小さくサプライチェーン排出量全体に与える影響が小さいため算定しない			
	[カテゴリ12] 販売した製品の廃棄	10,058	0.62	10,546	0.59
	[カテゴリ13] リース(下流)	排出量が小さくサプライチェーン排出量全体に与える影響が小さいため算定しない			
	[カテゴリ14] フランチャイズ	算定対象外			
	[カテゴリ15] 投資	2,034	0.13	1,115	0.06
合 計		1,611,722	100.00	1,802,180	100.00

使い捨てプラスチックの削減・リサイクル～商品～

アクシアル リテイリングは、お買い物を通して、お客様とともに限りある資源を大切に、持続可能な社会の実現に協力する取り組みを行っています。

環境に配慮した商品の開発・販売

アクシアルPB商品・オリジナル商品の開発においては環境への負荷が低減できるような設計に配慮しています。

アクシアルPB『おいしい水』



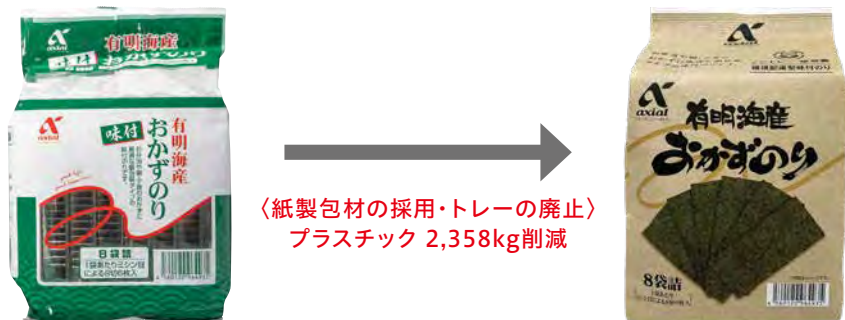
〈フィルム縮小〉
プラスチック 555kg削減

アクシアルPB『有明海産おにぎり焼のり』



〈トレーの廃止〉
プラスチック 1,285kg削減

アクシアルPB『有明海産味付おかずのり』



〈紙製包材の採用・トレーの廃止〉
プラスチック 2,358kg削減

ストローレスの取り組み

Hana-wellやさしいあじわいやすダヨーグルトは、商品を企画する段階で、ストローの添付を止め、販売いたしました。ストローが無くなることによる飲みにくさを解消するため、飲み口の内側の形状を丸みを帯びた形に変更いたしました。

この取り組みにより、年間で約47kgのプラスチックの削減につながりました。



ストローの添付を中止

飲み口内側を丸みを帯びた
形状に改良

ノントレー商品

トレーを使用しないノントレー商品で、包装資材の使用量が約2.6t削減されます。そのまま冷凍できる便利さから、お客様よりご好評いただいております。



使い捨てプラスチックの削減・リサイクル～資材～

お客様にお使いいただくレジ袋やプラスチック製カトラリーについても、資源を無駄にしない取り組みを進めています。

レジ袋の3R

Reduce(発生抑制)

アクシアル リテイリングでは、マイバスケットの販売をはじめ、お客様にレジ袋を再利用いただく取り組みでレジ袋の削減に努めています。

新店のオープン日に合わせマイバスケットのプレゼント企画を行うなど、普及活動も実施しています。

また、プラスチック資源の使用量を削減することを目的に、販売するレジ袋についてもバイオマスプラスチック素材を使用したものを採用しています。

繰り返し使える
アクシアル・フレッセイ
マイバスケットでお買い物



レジ袋の再利用
他社のレジ袋もOK!



レジ袋の店頭回収
ポリ袋もOK!



Reuse(再使用)

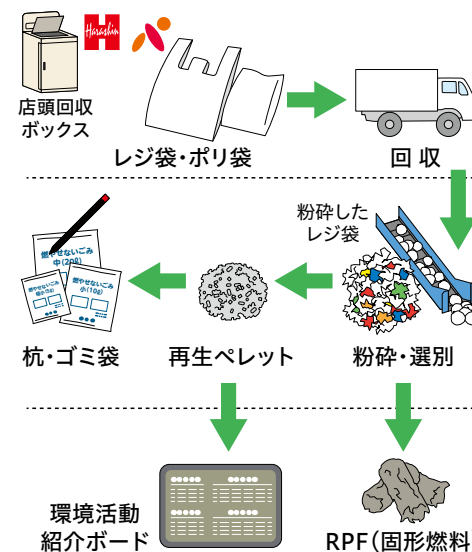
2008年より一度お使いいただいたレジ袋を次回のお買い物の際にご持参いただき、ショッピングバックとしてもう一度利用していただく「リユース! レジ袋」に取り組んでいます。

お持ちいただくレジ袋は当社のものだけでなく、他社のものでもお受けします。

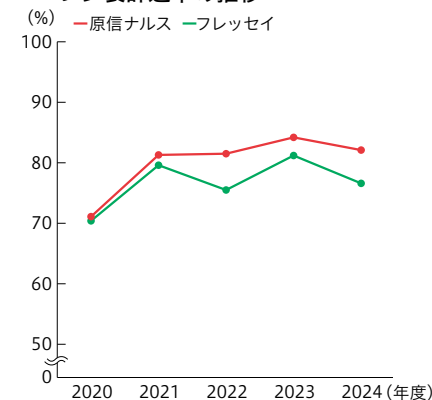
Recycle(再資源化)

原信とナルスでは、不要になったレジ袋・ポリ袋を店頭にて回収し、リサイクルをしています。当社のレジ袋に限らず、他社の製品でも入れていただくことができます。

店頭で回収したレジ袋は、分別、破碎などの工程を経てペレット化され、新しいプラスチック素材として再資源化されています。



レジ袋辞退率の推移

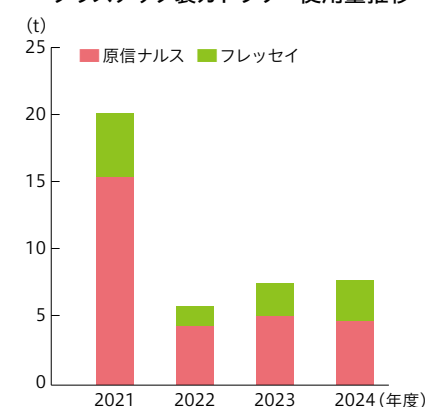


プラスチック製カトラリーの使用量削減

プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、プラスチック製スプーン等のカトラリー有料化を他社に先駆け実施しました。同時にバイオマス原料を使用したスプーン(植物由来のプラスチック)に切り替えることで、さらなるプラスチック資源の削減とCO2排出量の削減にも取り組んでいます。※有料化は原信とナルスのみ。



プラスチック製カトラリー使用量推移



使い捨てプラスチックの削減・リサイクル～店頭回収リサイクル～

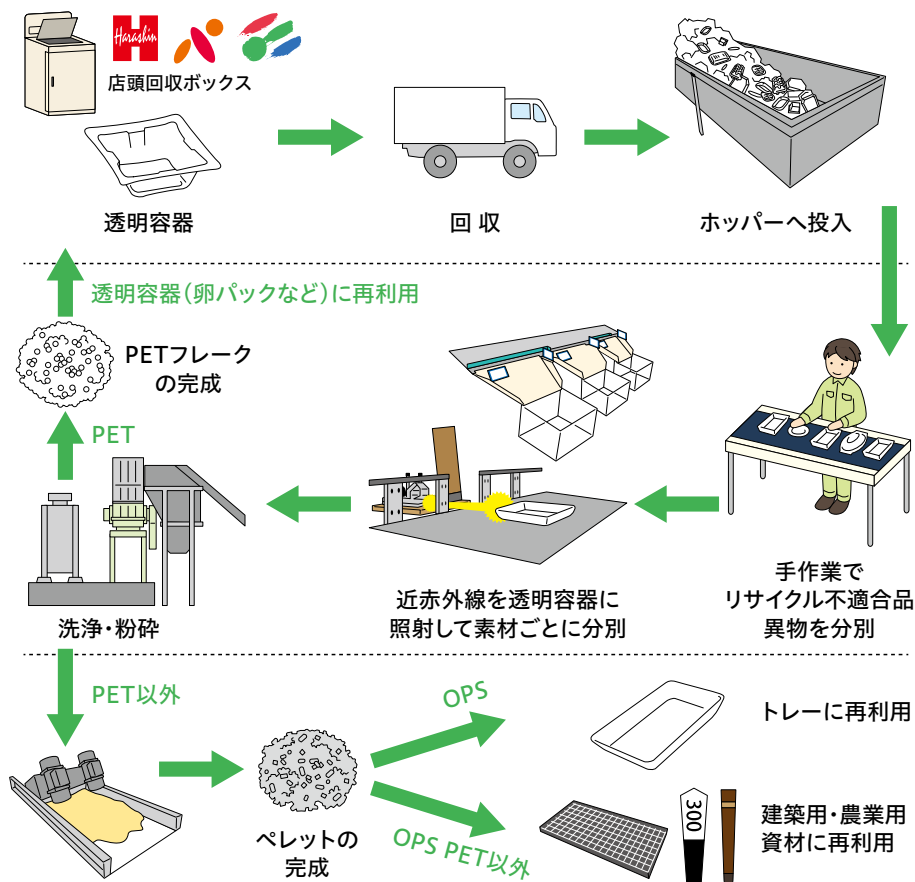
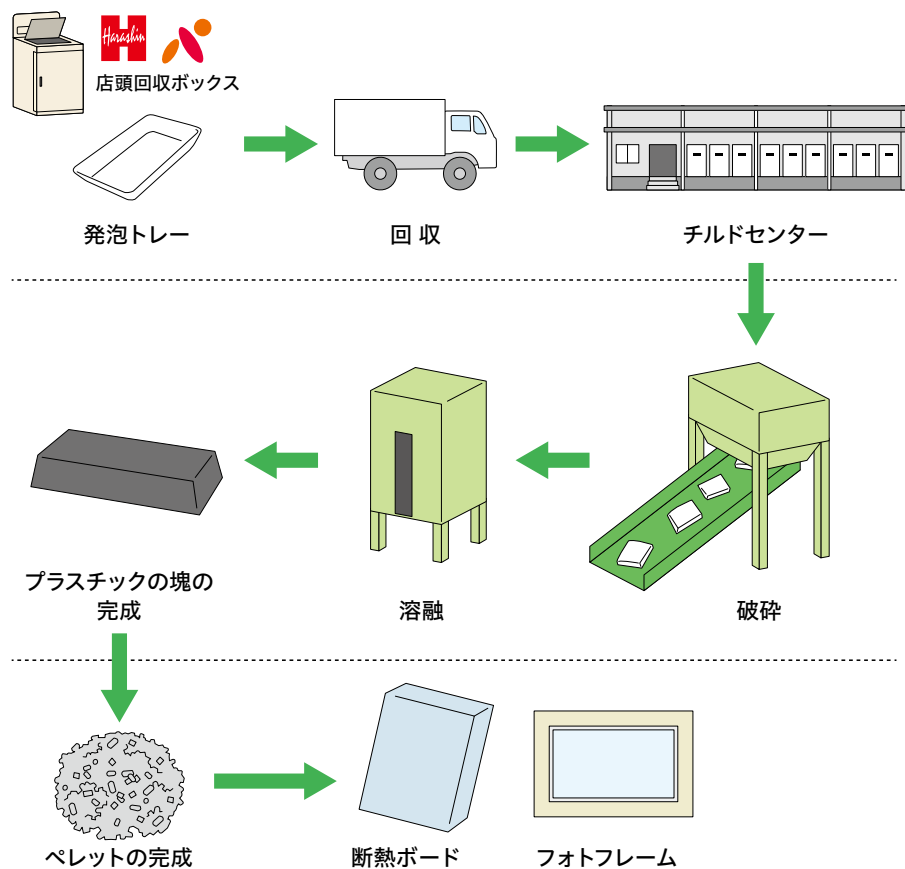
アクシアル リテイリングでは、再資源化が可能な容器・包装を回収するとともに、再生された容器・包装も積極的に使用しています。

お客様とともに行うリサイクル活動

ご家庭からお持ちいただいた資源物は、原信やナルス、フレッセイの各拠点に集められ、リサイクル業者様に再資源化していただきます。

その後、選別・破碎・洗浄などの工程を経たのち、ペレットと呼ばれる成形品の原料となります。

トレーや容器が原油から新しく作られる場合、製造工程から多くのCO₂が排出されますが、このペレットから作られるトレーや容器は、原油から新しくトレーが作られる場合に排出されるCO₂よりも少なくなるため、環境への負荷が低くなります。アクシアル リテイリングでは再商品化された容器・包装を仕入れ、販売することで、環境負荷低減の取り組みを推進しています。



食品廃棄物の発生抑制

店舗やプロセスセンターから排出される食品廃棄物の削減に向け、さまざまな取り組みを実施しています。

発生抑制

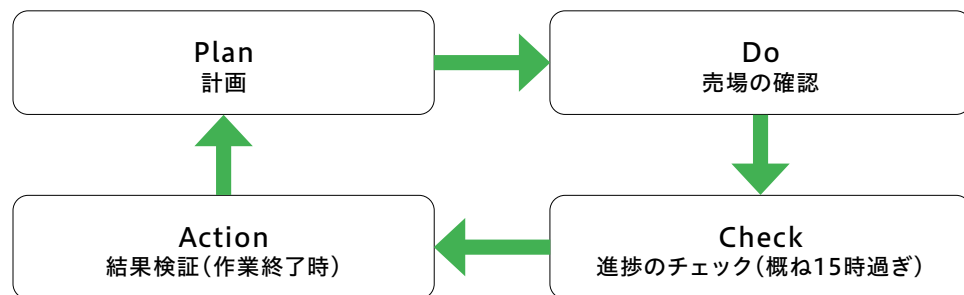
アクシアル リテイリンググループの店舗では、1日3回店長が各売場を回りデータをもとに販売計画や作業の進捗を確認し、修正の指示などを行っています。

店長と部門のチーフがコミュニケーションをとることにより、店長のマネジメント力が格段に向上し、売場もよりよい状態にレベルアップします。

9時、12時、15時を基本に確認をすることで商品の製造数にムダ・ムラがなくなり食品廃棄の発生抑制につながっています。



売場でのミーティング



てまえどり

食品ロス削減に向けた取り組みとして「てまえどり」の啓発を行っています。

「てまえどり」とは、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品で販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ購買行動です。

商品の劣化を防ぎ、常に鮮度のよい商品を提供するためにスーパーマーケットでは先入れ先出しを原則としていますが、商品棚の奥にある商品から購入されてしまうと、手前に陳列されている商品が廃棄となってしまいます。店舗では牛乳、納豆、パンなどの期限の短い商品について、「てまえどり」啓発POPを設置し、一人でも多くのお客様にご協力いただけるようお願いしています。



PB商品の賞味期限の延長

食品ロス削減への貢献とお客様へのより良い商品提供を目指し、当社プライベートブランド(PB)商品では、科学的根拠に基づいた賞味期限の延長に取り組んでいます。製造工程の改善による品質維持を前提に、販売期間を長くすることで、お客様の購入機会を拡大し、店舗の在庫管理を容易にします。これは、業務効率化と物流最適化にもつながり、持続可能な社会の実現に貢献するものと考えています。

PB商品「きざみ揚げ」。製造工程の改善により、油揚げ本来の柔らかさや風味を落とさず、賞味期限を製造日より4日から、12日に延長しました。



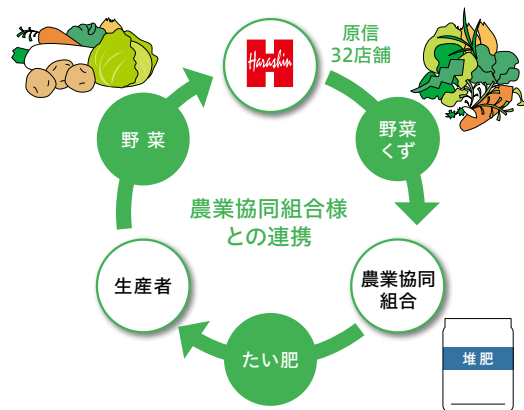
食品廃棄物のリサイクル

食品リサイクル業者様と連携し、廃棄となる食品のリサイクルに努めています。食品廃棄物として発生するものの多くは、野菜の外葉や魚のアラ、肉くずなど、販売することに適さない食材です。それらは各リサイクル業者様の施設で、たい肥や飼料、燃料などの新たな資源に生まれ変わっています。なお、現在行われている取り組みのうち3つが再生利用事業計画に認定されています。

たい肥化

店舗から出る野菜くずの一部は、発酵・攪拌を繰り返し乾燥させて、たい肥となります。

原信では、リサイクルされたたい肥で育てた野菜を仕入れ、再び店舗で販売する循環型の取り組みを行っています。

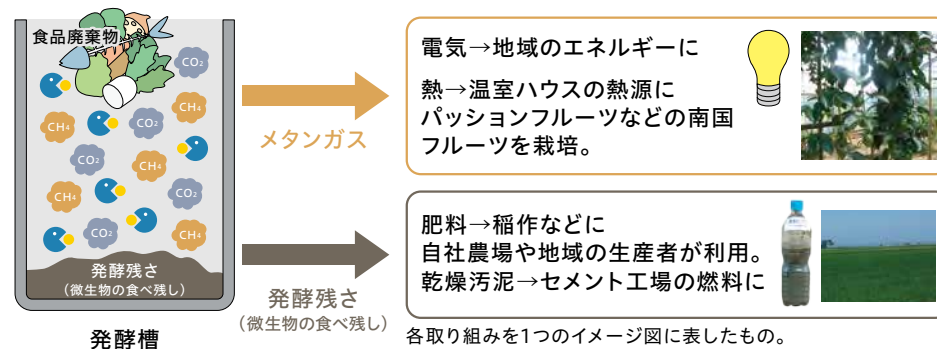


バイオガス化

原信・ナルスの一部店舗から出る食品廃棄物は、バイオガス化が行われています。

生ごみは、微生物の働きによって発酵・分解されます。その際に発生するバイオガス(メタンガス)がバイオガス発電に利用されます。

発酵の際に残った残渣は、肥料や燃料として有効活用されます。



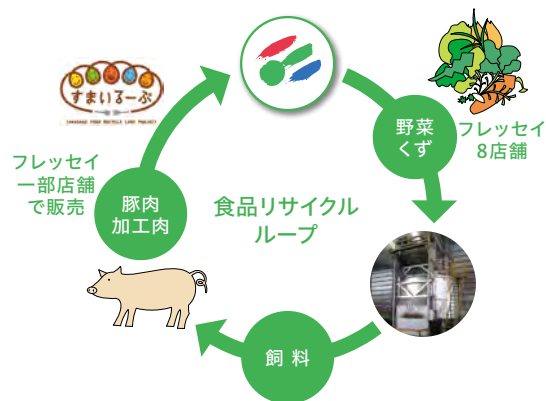
各取り組みを1つのイメージ図に表したものを。

飼料化

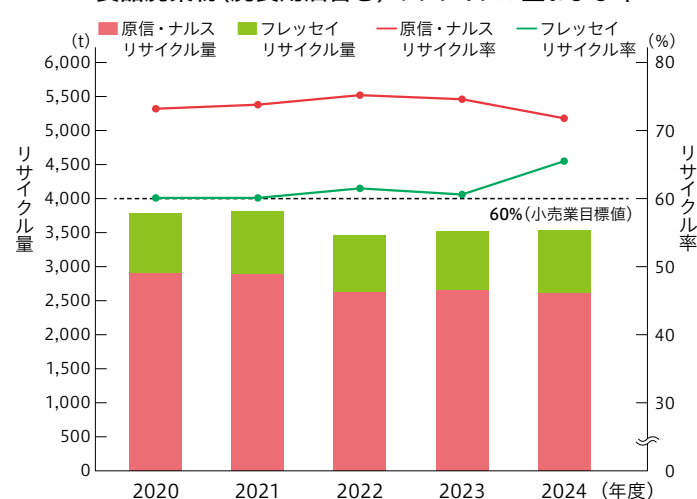
野菜くずの一部は、乾燥麺、乾燥おからなどを混ぜて乾燥飼料に加工されています。

家畜が食べるリサイクル飼料は原料などに厳しいルールがあります。品質のよい飼料を作るため、それぞれの食品廃棄物は衛生面に配慮した専用車両で新鮮な状態で運ばれ、厳格な管理のもとリサイクルされています。

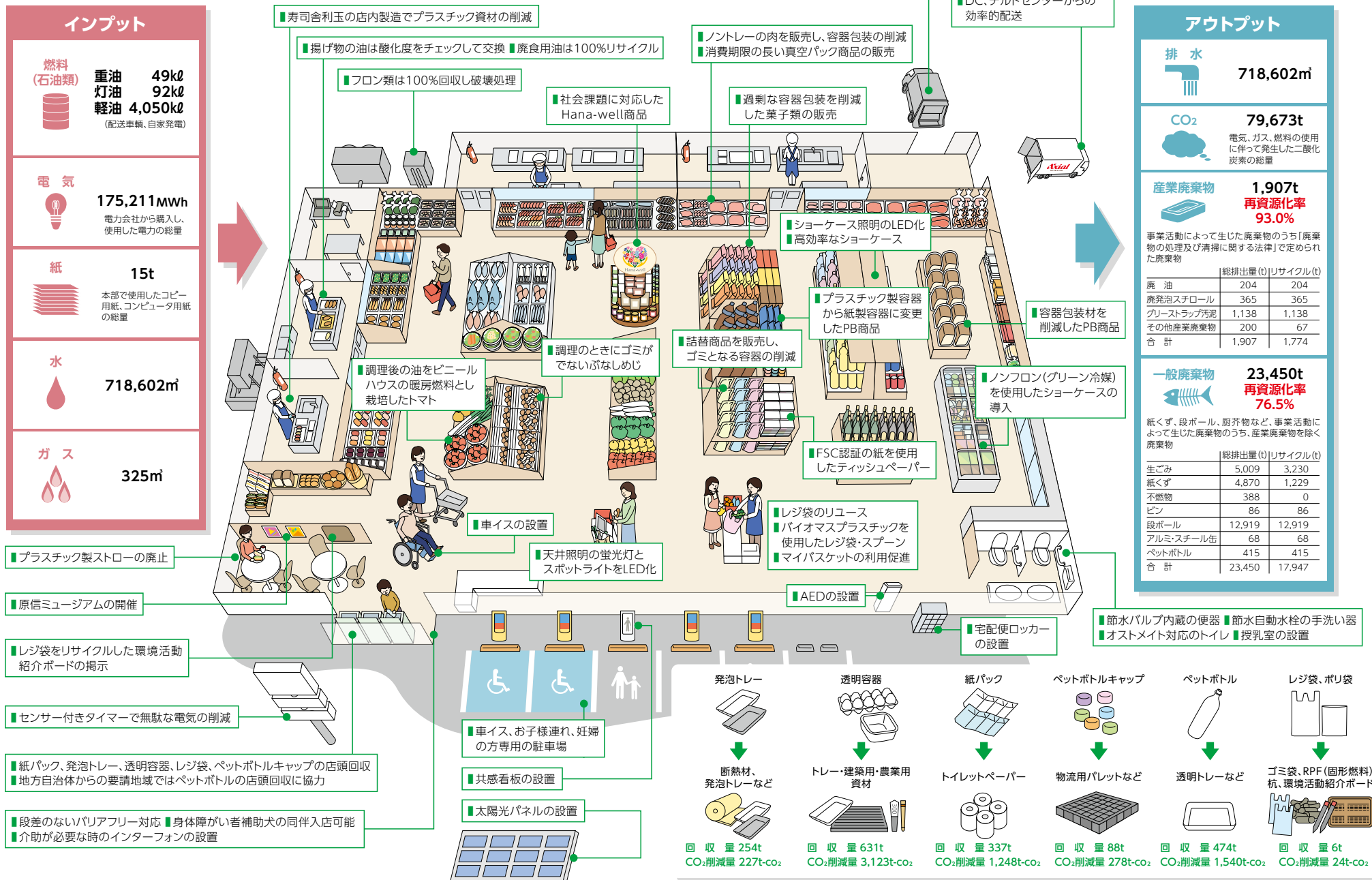
フレッセイでは食品廃棄物から作られた飼料で育った豚の肉を一部店舗で販売する循環型の取り組みを行っています。



食品廃棄物(廃食用油含む)のリサイクル量および率



事業活動による環境影響



環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

環境保全コスト

分 類		主な取り組みの内容	2023年度			2024年度		
			投資額 (千円)	費用額 (千円)	CO2削減 効果 (t-CO2)	投資額 (千円)	費用額 (千円)	CO2削減 効果 (t-CO2)
(1)事業エリア内コスト		—	113,560	310,642	—	146,317	308,884	—
内 訳	(1)－1 公害防止コスト	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など	102,454	38,649	—	52,312	43,593	—
	(1)－2 地球環境保全コスト	LED照明工事など	11,106	20,849	327	94,005	3,402	—
	(1)－3 資源循環コスト	廃棄物処理費、生ゴミリサイクル費など	—	251,144	—	—	261,889	—
(2)上・下流コスト		容器包装リサイクル法再商品化委託料	—	60,785	—	—	66,372	—
(3)管理活動コスト		ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	955	2,277	—	5,811	3,686	—
(4)研究開発コスト		—	—	—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト		各種組合費など	—	50	—	—	50	—
(6)環境損傷対応コスト		アスベスト除去費用	—	—	—	—	116,250	—
合 計		—	114,515	373,754	327	268,378	378,992	—

※対象企業：原信、ナルス
※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

環境保全対策に伴う経済効果 (単位：千円)

効果の内容		2023年度	2024年度
収 益	リサイクル品売却益	86,619	87,704
	店頭回収品売却益	11,452	16,581
費 用 節 減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	29,620	32,222
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	211,123	215,562
合 計		338,814	352,069

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2023年度	2024年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	180,626	175,211
	ガス使用量(千m ³)	315	325
	重油使用量(k(l))	49	49
	灯油使用量(k(l))	59	92
	軽油使用量(k(l))	4,015	4,050
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	水使用量(千m ³)	748	719
	CO2排出量(t-CO2)	87,934	79,673
	廃棄物総排出量(t)	30,060	25,357
	廃棄物最終処分量(t)	5,290	5636
	排水量(千m ³)	748	719
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	6	6
	紙パック回収量(t)	341	337
	発泡トレイ回収量(t)	253	254
	透明容器回収量(t)	599	631
	ペットボトルキャップ回収量(t)	96	88
	ペットボトル回収量(t)	400	474

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

広がるデジタルサービス

デジタル技術を活用し、便利で快適な買い物環境づくりを進めています。

原信ナルスアプリ フレッセイアプリ

原信ナルスアプリは2025年4月にリニューアルしました。リニューアルにより操作性が向上するとともに、機能・サービスの改善追加を行いました。

フレッセイアプリでもお買い物が楽しくなる機能があります。今後も順次、様々な新機能の追加・アップデートをしてまいります。

原信ナルスアプリ https://www.harashinnarus.jp/app_lp/ 

フレッセイアプリ https://www.fressay.co.jp/app_lp/ 



ネットスーパー

近年、共働き世帯や高齢者の増加に伴い、ネットスーパーをご利用いただく方が増えてきました。お届けエリア内であれば、午前10時までの注文で当日配送いたします。またご指定いただいた方の住所に配送することも可能です。

また原信ネットスーパーには、個人向けの「スタンダード」と、外食業等事業者向けの「プロ」があり、「プロ」では後払い等事業者向けサービスも提供しています。

原信ネットスーパー

<https://harashin-net.axial-r.com/super/app/common/sitetop/?r=hnhp> 

フレッセイネットスーパー

<https://fressay-netsuper.axial-r.com/fssuper/app/common/sitetop/> 



	原信ネットスーパー(スタンダード)	フレッセイネットスーパー
エリア	新潟県内全域(離島を除く)	群馬県内全域
お届け時間	午前10時までの注文で当日配送 (新潟市内は13時まで)	朝10時までの注文で当日配送
	3日先まで日時指定可能	3日先まで日時指定可能

オンラインショップ

オンラインショップは、PCやスマホから簡単・便利にご利用いただけるサービスです。「ネットで発送」ではギフトや名産品を全国に発送でき、「お店で受取」ではごちそう予約などの商品を店舗で受け取れます。季節やイベントに合わせたラインナップも充実しており、地域のお客様の様々なニーズに対応しています。



原信ナルスオンラインショップ

<https://net-de-harashin-narus.axial-r.com/shop/?r=home> 



フレッセイネットオーダー

<https://net-de-fressay.axial-r.com/fsshop/> 



ネット社会への対応

原信は新潟市・長岡市でデリバリーサービスを提供するUber Eats様による即時配達への対応を行っています。また一部店舗の店頭では、宅配便ロッカーを設置し、お客様の更なる利便性向上に努めています。



Amazon Hub



PUDOステーション

広がるデジタルサービス

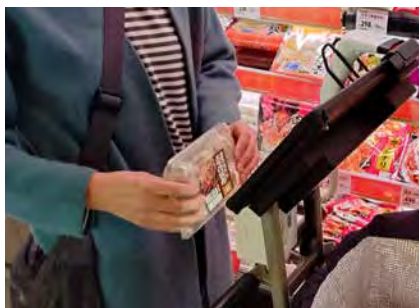
デジタル技術を活用し、便利で快適な買い物環境づくりを進めています。

次世代決済サービス スマートカートの導入実験

原信では、買い物の利便性向上と新たな顧客体験の提供を目的に、一部店舗において、スマートカートの導入実験を行っています。スマートカートは、カートに商品を読み取る機能を備えており、レジ精算の時間短縮や買い物履歴の可視化などが可能です。高齢者や子育て世代をはじめとする多様なニーズに応え、地域のお客様により快適な買い物環境を提供する取り組みです。



スマートカート



お客様が商品バーコードをスキャン

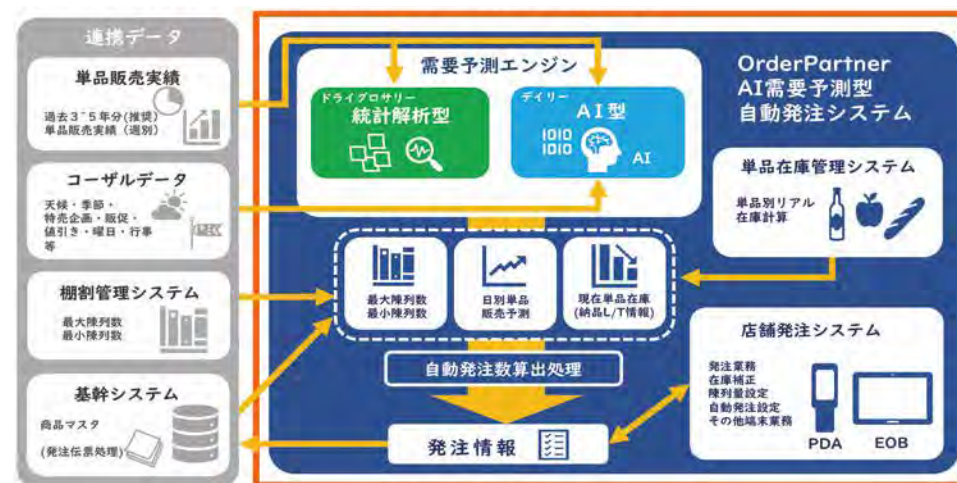


ご購入された商品が画面に表示

AI自動発注

需要予測エンジンをもとにAI需要予測型自動発注システムをグループ会社アイテックが自社開発しました。

加工食品を中心にAI自動発注の導入を進め、品切れ件数低減によるチャンスロスの削減、発注時間の削減による業務の効率化、さらには食品廃棄物の削減につなげています。



誰もがいきいきと活躍できる職場（育児介護・男性育休・女性管理職）

私たちは、人生のあらゆるステージで、自分らしい働き方を大切にしながら、キャリアアップを目指す環境を整えています。

ライフイベントに左右されないキャリア形成

育児介護休業制度

原信・ナルスでは、従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催することで、同制度の取得を促進しています。制度説明のほかに、育児休業を経て復帰した社員による体験談発表を行っています。出産時の体験や育児中の悩み、工夫、復帰後の仕事・育児両立のコツなど、経験者だからこそ話せる内容が毎回好評です。また、介護休暇と介護休業制度があり、必要な方に利用されています。

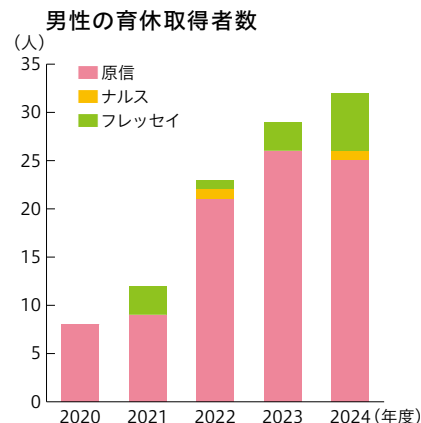
くるみん、ハッピー・パートナー、群馬いきいきカンパニー

原信・ナルスでは、子育てサポート企業「くるみん」認定および、新潟県で女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組める「ハッピー・パートナー企業」に認定されています。群馬県では、育児・介護と仕事の両立、職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組む企業を「群馬いきいきカンパニー」として認定しています。フレッセイでは、特に優れた取り組みを行う企業に与えられるゴールド認証を取得し、すべての従業員が働きやすい環境づくりを推進しています。



男性の育児休業制度取得推進

男性の育児休業は、原信ナルスで2023年度83.9%、2024年度92.9%と多くの従業員から利用されています。休業取得者はそれぞれ取得の期間やタイミングも異なりますが、「初めての出産、子育てに不安が多いので、夫婦で協力して赤ちゃんを迎えたい」「復帰する妻が仕事に専念できるようサポートしたい」と、かけがえのない時間をご家族と過ごしています。従業員の育児経験は、お店づくり、商品づくりなどにも反映されます。



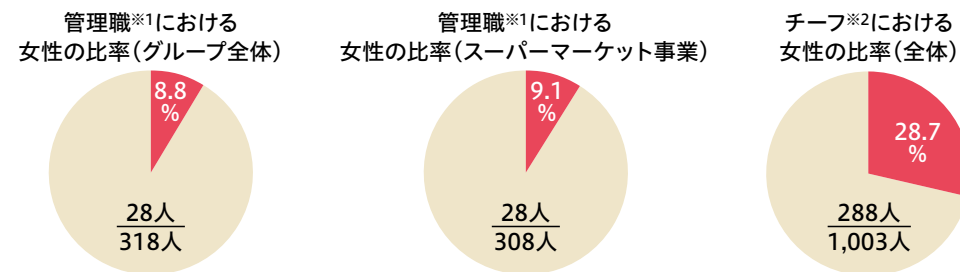
両立支援コーディネーターの配置

原信・ナルスでは2023年度より人事教育部に両立支援コーディネーターを新たに配置しました。仕事と育児・介護・病気の両立をより円滑に進めるため、会社制度の説明や社員と地域社会や公的サポートとの連携など休職中のサポートや復職支援をコーディネートして、キャリア継続を支援します。

キャリアアップを望む女性の管理職登用

スーパーマーケットは従業員の7割以上が女性であるため、作業環境や機器を整えることで、性別の違いで「できる」「できない」仕事がないように配慮しています。また、基本方針としてすべての教育プログラムや評価において男女共通の機会を提供しキャリア形成へのチャレンジを支援しています。

当社では女性管理職の拡充に向けてキャリアモデルの開発を進めています。2024年度末の女性管理職人数は、原信、ナルス、フレッセイで合計28人です。



※1 管理職：部長、室長、センター長、店長、チーフバイヤー、マネジャー（含エリアマネジャー）

※2 チーフ：店舗、本部のチーフ（主任）相当

レギュラー社員への区分変更

当社では、年に1回行われる区分変更試験を受験し合格することで、パートナー社員などからレギュラー社員（正社員）へ区分変更する制度があります。

技能を身につけながら、雇用区分のステップアップの機会を提供することで挑戦する従業員を応援します。

2024年度は原信・ナルスでは2人、フレッセイでは3人が区分変更試験に合格しました。

誰もがいきいきと活躍できる職場（外国籍・シニア・障がい者・転職）

私たちは、多様なバックグラウンドを持つ従業員が、それぞれの強みを活かし、自分らしく力を発揮できる職場環境を整えています。

多様な人材の活躍

外国籍社員・技能実習生の活躍

従業員の採用にあたり国籍や出身地、性別に関係なく、その人の持っている能力と人間性で採否を決定し、幅広い人材を受け入れています。現在技術・人文知識・国際業務の在留資格を持つレギュラー社員10名、フレッセイでは3名の外国籍社員が勤務しています。

また店舗や物流センター、食品製造工場などでは永住者や日本人配偶者などの在留資格のパートナー社員が127人就労しています。

TOPIC

原信は2024年11月から初めて、店舗における特定技能人材の雇用を開始しました。

現在、ベトナム人の特定技能人材10名が水産部門と惣菜部門の食品製造業務を行っています。毎月研修を行い、作業の習得状況を確認しています。

また祖国を離れ、日本で活躍する皆さんの生活支援と同期交流を目的に、毎月ミーティングも行っています。公共交通機関の使い方や日本文化の体験などもしています。



シニア人材（高齢者）の活躍

労働力の確保、技術とノウハウ長期活用の観点からレギュラー社員、パートナー社員ともに定年後再雇用により、70歳まで継続勤務できるように雇用上限を引き上げています。

また、原信とナルスでは安心して長く働き続けていただくために、セカンドライフセミナーを定期的開催しています。定年後再雇用制度や働き方などのセカンドキャリアに関するに加え、年金などのマネープランについて説明しています。

60歳以上の従業員 原信・ナルス：パートナー1,734人／フレッセイ：パートナー415人



年齢を感じさせないシニア人材

障がい者雇用の推進と安定就労

当社グループでは、障がいのある方も就労を通じて誇りを持ち、自立した生活を送ることができるよう、障がい者雇用に努めています。すべての事業所が物心両面での雇用環境整備を継続的・計画的に進めたことにより、雇用率は全事業会社において法定雇用率の2.5%以上となっています。

転職からのチャレンジ

当社では既に社会人経験のある人の中途採用を積極的にすすめています。原信ナルスグループでは2024年度34人が当社へ転職しました。

障がい者雇用率（%）

原 信	2.7
ナ ル ス	4.5
ロ ー リ ー	3.4
アイテック	3.4
高 速 印 刷	2.8
フレッセイ	2.6

2025年3月末現在

TOPIC

高度な専門分野を持った人を招き入れるスカウト採用

新規事業、新しい取り組み、また組織の強化を行うという場合には、時として高度な専門知識や経験が必要となります。その専門家を育成するのに長い年月が必要なため即戦力としてその必要とされる知識や経験を既に持っている人を仲間を迎えようというのが、このスカウト採用です。

誰もが働きやすい職場(身だしなみ基準・有休取得・奨学金返済・不就労制度・多目的ホール)

私たちは、多様な価値観やライフスタイルを尊重し、一人ひとりが自分らしく、安心して働ける職場環境づくりを進めています。

選ばれ、働き続けたい職場環境の整備

身だしなみ基準の変更

社会環境の変化に合わせ、多くの外国籍従業員もいることから多様性(ダイバーシティ)の推進や個性を尊重し、従業員一人ひとりが、自分らしくイキイキと働き、活躍できるような職場環境を整備するため、お客様に威圧感、恐怖感、だらしなさを感じさせないことを前提に身だしなみ基準を変更しました。自分らしさを表現できることで自由な発想を生み、そこに自然と笑顔もあふれ、今まで以上に何でも言い合える職場を目指します。

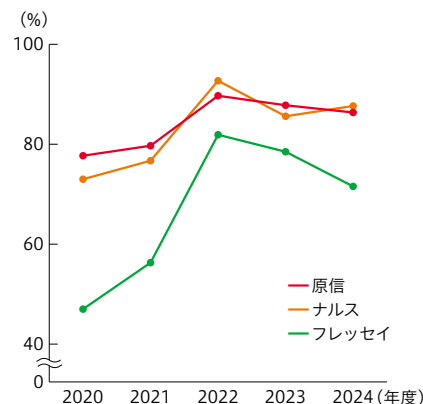


有給休暇取得推進

社内定例会議の開催頻度の見直し、人員不足店舗への応援体制構築、定期的な連休の取得推進など、有給休暇の取得しやすい環境の整備に取り組むことで、有給休暇取得率は年々向上しています。

原信・ナルスでは「半日有給休暇制度」の導入、フレッセイでは連休・有給取得のパターンも増やし、年に4回、3連休以上の取得ができるようになりました。これからも有給休暇を取得しやすい環境づくりに向けて取り組んでまいります。

有給休暇取得率



奨学金返済支援制度

奨学金の返済が従業員にとって負担とならず、生活の充実と、業務に集中できる環境を整えるため、2024年4月から奨学金返済支援制度を導入いたしました。

一定の条件を満たした従業員に対し、奨学金の返済額実費を支給することで支援しています。現在135人の従業員が制度を利用しています。(支援額は規程により上限あり。)

不就労制度

就業時間内に1日最大2時間まで就労を離れることを許可する不就労制度を導入いたしました。これにより、就労の合間に、通院、子供の学校行事への参加、役所の手続き、リフレッシュのための運動などが可能となり、より従業員が柔軟に働きやすい環境となりました。

多目的ホールでの健康イベント開催

本社移転に伴い、多目的ホールが新設されました。運動ができる十分なスペースにランニングマシン、フィットネスバイクといったフィットネスマシンや、ボルダリングウォールが設置され、出勤前や、昼食後の休憩時間、退勤後などに多くの従業員が利用しています。各種イベントも企画し、運動をする機会がなかった従業員でも気軽に運動を始めるきっかけづくりになっています。



多目的ホール

〈フィットネス体験〉

専門のトレーナーを迎えてのフィットネス体験を月2回程度実施しています。ヨガ、ピラティス、姿勢改善ストレッチ、ボディシェイプ、キックボクシングといった内容で毎回大変好評です。

〈チーム対抗運動イベント〉

3人1組で多目的ホールで運動した消費カロリーの合計を競うイベントを年に4回程開催しています。部署の枠を超えたコミュニケーションが自然と生まれ、楽しみながら優勝を競っています。優勝チームには社長から表彰があります。

誰もが働きやすい職場（健康経営・カスハラ対応・通報相談・フェムケア）

私たちは、誰もが安心して働ける職場づくりを実現するため、健康経営の推進を通じて、全ての従業員がイキイキと働ける職場を整えています。

選ばれ、働き続けたい職場環境の整備

健康経営優良法人認定

原信・ナルスおよびアイテックは、経済産業省が進めている健康経営優良法人認定制度において、健康経営優良法人として認定されました。

原信・ナルスは4年連続、アイテックは2年連続の認定となります。



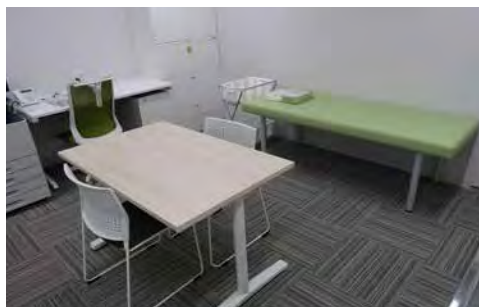
メンタルヘルスケア体制

体だけでなく、心も健康でいられるよう様々な取り組みを行っています。

- ①メンタルヘルプ相談窓口の設置
- ②メンタルケア教育、店長に向けた従業員対応の勉強会
- ③カウンセリングの実施

産業保健室

アクシアル本社の移転に伴い、産業保健室・休養室・保健面談室を新設しました。産業保健室には保健師が常駐し、従業員の健康相談や仕事と病気などの両立の悩みなどにも相談に応じています。



産業保健室

カスタマーハラスメントへの対応

近年、カスタマーハラスメントに対する社会的関心が高まり、政府や関係機関による法整備やガイドラインの策定が進められています。

当社ではこうした社会的動向を重要な課題と捉え、従業員の心身の健康と職場の安全・安心を守るため、カスタマーハラスメントに関する社内方針の明文化や相談・対応体制の整備に向けた検討を進めています。

通報・相談窓口

全従業員が正しく理解できるようにeラーニングを活用したハラスメント研修を開始しました。

また、当社グループでは、従業員からの各種相談・指摘等について、従業員が直接通報できる内部通報窓口を開設しています。窓口は内部（各社労働組合・労務企画室）、外部（顧問弁護士）に設置し、関連部署と連携しながら働きやすい職場環境の整備に努めています。

フェムケア教育

女性の心と体を学ぶことを目的に、各階層別に勉強会を開催しました。その中で、生理、更年期、不妊治療について重点を当て、当事者が知識を深めることと同時に、周りの従業員が理解し思いやりの心で接することで、休みを取りやすく、働きやすい職場環境に繋がることを目指します。

生理用品

女性特有の健康支援（フェムケア）の一環として、必要な時に生理用品の準備がない状況の女性従業員の不安・ストレスを軽減し、安心して働ける職場環境を整備するために、アクシアルリテイリンググループ全事業所の女性トイレに生理用品が設置されました。

一人ひとりが主体的にキャリアを描ける職場(人材育成・スペシャリスト)

私たちは、従業員が主体的にキャリアを築き、専門性を深めるとともに、常に新たな価値を生み出す人材の育成を推進しています。

イノベーションを創造し続けられるスペシャリスト集団づくり

当社グループにとって人材は企業価値創造の中核のひとつです。人材の力を最大化させ、自ら変革を起こし、新たなイノベーションを創造し続けられるスペシャリスト(専門家)集団を形成することで、企業価値の向上につなげていく人的資本経営を推進しています。「専門性の追求」「多様性の確保」「成長の実感」を掲げ個人の成長による企業価値創造を目指しています。

人材育成方針

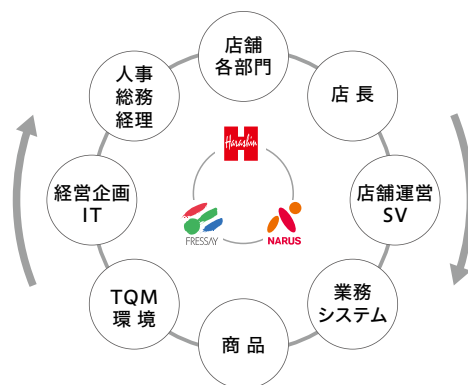
スーパーマーケットにおけるチェーンストア経営システムの基幹業務に必要な人材を育成します。そのために、チェーンストア理論に基づいた教育・訓練プログラムを編成し、チェーンストア経営の分業を担い、数値責任を果たすスペシャリストの人材を確保します。

スペシャリストの育成の教育訓練体系

当社の教育訓練体系に基づきマネジメントの基礎段階までは社内の共通カリキュラムを実施しています。また、一定条件を充足した社員を対象に経営幹部候補として必要な知識技能を習得するために、複数の社外セミナーや海外視察に派遣しています。当社グループでは、様々な職種にチャレンジすることが可能です。自身の経験を活かし、将来的には各分野のプロである「スペシャリスト」として活躍できる人材を育成することを目指しています。

ジョブローテーション

当社グループでは、定期的に様々な業務への異動を繰り返していく「配転教育」を行っています。ジョブローテーションをすることで、小売業としての分業を担う知見を広げ、新たな能力と適性を発見していき、数値責任を果たすスペシャリストを育成します。



階層別教育(様々な学びの場)

アクシアル リテイリングでは階層別に体系的に研修を行っています、新しい職位で必要な知識、管理能力を身に付ける研修などが入社時から管理職まで段階的に設けられています。



入社時基礎研修ステップアップ研修



マネジメント基礎研修

- ①入社時基礎研修・ステップアップ研修
- ②チーフ基礎研修
- ③新任店長研修
- ④マネジメント基礎研修

訓練センターを活用した技術訓練

店舗のバックルームと同じ設備をもつ訓練センターが3拠点あり、トレーナーから集中的に技術指導を行っています。2024年度は年間100件以上の研修会を実施しました。

また当社ではお客様にご満足いただける売場・商品をご提供するために、社員の技術レベル向上のため「技能検定制度」(初級・中級・上級)を導入し、全社員が技術力を習得するための訓練を行い、スキル向上に努めています。



技術の習得

アイデア発想道場

独創的でイノベティブな発想を習得するために、長岡技術科学大学アイデア開発道場長 改田哲也教授を講師に招き、中堅幹部を対象にした半年間の研修コースを実施しています。



グループディスカッション



自由な発想で語らう

一人ひとりが主体的にキャリアを描ける職場(アメリカ視察・スペシャリスト試験)

私たちは、従業員が自身のキャリアを主体的に描き、専門性を高めながら成長できる環境を提供しています。

多様な学びと挑戦の機会を通じ、個々のスキルアップを支援しています。

イノベーションを想像し続けられるスペシャリスト集団づくり

アメリカ視察

当社ではチェーンストアづくりの方向性やフォーマット趨勢の調査のため定期的に流通先進国であるアメリカ視察を行っています。



ナゲットマーケット様にて



トレーダー・ジョーズ様にて

デザイン基礎講座

2024年6月長岡造形大学 吉川賢一郎准教授を講師に、「デザイン基礎講座」を開始しました。デザインの基礎知識を学び、お客様に「伝える技術」を習得することで商品パッケージやPOP、パンフレット等でお客様に「おいしさ」や「特長」を伝える技術の育成をすすめています。



デザイン基礎講座

スペシャリスト試験制度

グループビジョン実現に向けて、さらなるマスメリット創出するため、現状の職位に加え、本格的なチェーンストア分業体制の強化と人材の育成が必要です。そのチェーンストア機能を分業できる専門家である「スペシャリスト」を育成する登竜門として「スペシャリスト認定試験」を新設しました。筆記試験、オムライス検定、レポート、面接の4科目の試験です。

TOPIC

スペシャリスト認定試験の実技としてカゴメ(株)様監修のオムライス検定を導入。目的は、一品一品丁寧においしくつくることの大切さを知り、商品づくりの奥深さを体験し、食への関心を高めることです。検定を始めるにあたり、社内5名がカゴメ(株)様のオムライス検定を受験し「オムライスアンバサダー」資格を取得しました。



美食の旅支援制度

「美食の旅」支援制度は、国内・海外問わず、休日を利用しておいしい食に触れる旅に出かけ、おいしいものを食べ、美食体験レポートを提出すれば、飲食代の一部を補助する制度です。

おいしい商品を開発するため、様々な食に触れ、「おいしい」と言われるものを実際に味わっていただくことが重要であることから、支援制度をスタートしました。



公的資格の取得支援

当社では社内推奨資格を定め、資格の取得を推進し、従業員自身のスキル向上や能力開発に努めています。全部署共通の知識はもちろん、部署特有の知識や技術を得ることで、スペシャリストに必要な専門的な知識習得につながっています。

衛生管理者、酒類販売管理者、食品衛生責任者、防火管理者、簿記など店舗運営に必要な資格のほか、色彩士など当社グループらしさを実現するのに役立つ資格の取得も推奨しています。

また、グループ会社のアイテックでは、情報処理安全確保支援士試験、ネットワークスペシャリスト試験、AWS認定試験合格者もおります。

品質管理検定合格者	366人
色彩士検定合格者	322人
基本情報技術者合格者	31人
応用情報技術者合格者	9人
ITパスポート合格者	10人

※2025年3月末現在。原信、ナルス、フレッセイ、アイテックの合算数値。

TQMは経営の根幹

アクシアル リテイリンググループではTQM(Total Quality Management:総合的品質管理)を「お客様のご満足を目的とした全員参加の組織的継続的な経営活動」と定義し、経営の根幹に据えてあらゆる品質の向上に取り組んでいます。

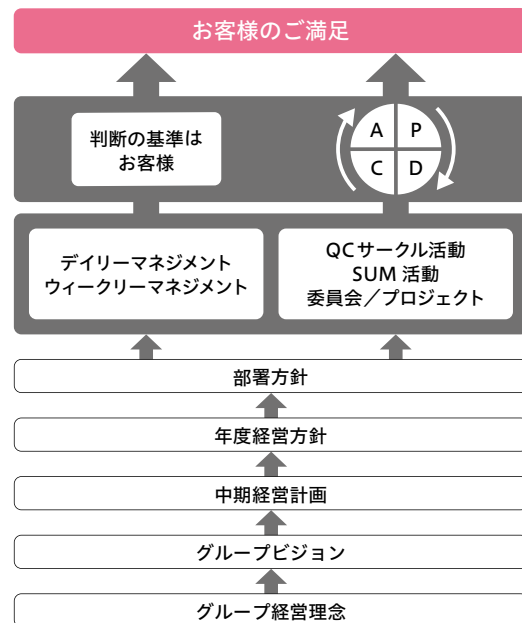
改善と維持

TQMの活動は良い状態を保つ維持活動とさらに良くしていく改善活動の両輪で成り立っています。

TQMの活動の中核をなす改善活動は、同じ職場(部門)の人たちがチームを編成して取り組むQCサークル活動と、店長や部・室長、バイヤーなど専門担当が自らの分野で主体となって取り組むSUM活動(SUM:Service UpのためのManagement活動の略称 アクシアル独自の用語)の2つがあります。どちらの活動も年度方針に紐づく重点目標を達成できるようテーマを選定して活動します。

また、良い状態を保つための維持活動は、実施項目を定めて日々管理するデイリーマネジメント、週単位で管理するウィークリーマネジメント、さらに月・四半期・年単位で管理します。

改善活動と維持活動、どちらもPDCAを回すことで継続的に質の向上につなげています。



教育プログラム

TQMを効果的、効率的に進められるよう、QC(Quality Control:品質管理)手法について9つの研修カリキュラムがあります。社員区分問わず、誰でも必要なタイミングで研修を受講できます。

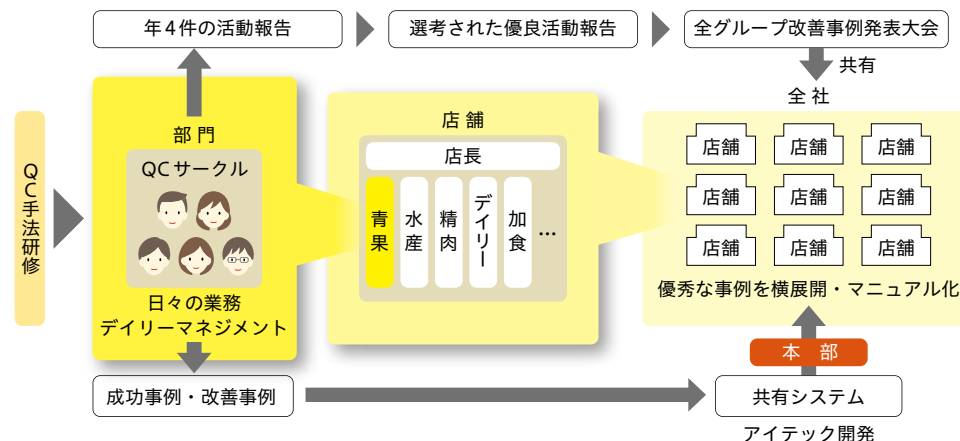
成功事例・改善事例

改善活動で行った対策やデイリーマネジメントで効果のあった対策は、成功事例共有システムに登録し、本部や他の店舗と共有します。効果が検証された事例は標準化し、水平展開することで全社的な品質向上につながっています。

年4件の活動報告と発表機会

年間4件のテーマに取り組むQCサークル活動、SUM活動には事例を発表する機会があります。毎年春と秋に各部署から発表会や評価によって選考された事例は、改善事例発表大会で発表されます。誰もが大会に参加でき、聴講することで優れた取り組みを社内でも共有しています。

職場で生まれた優秀な事例を全社選考共有化することで全社の品質を底上げ



TOPIC

QCサークル石川 馨 賞奨励賞

原信 篠ノ井東店 ベーカリー部門「サマースノーサークル」
テーマ:しっとりあんブレッドの不良個数削減

2024年12月に、QCサークル石川馨賞授賞式が沖縄で開催され、「QCサークル石川 馨 賞奨励賞」を受賞しました。QCサークル石川馨賞を含めて、当グループで9回目の受賞となります。



「石川 馨 賞奨励賞」の盾

ミライにつながる人材育成

アクシアル リテイリングでは、米百俵の精神を受け継ぎ、社外の皆様と協力しながら、多くの子供たちに学校の枠組みを超えた教育の機会を提供することで、これからの社会づくりの担い手を育むことを目指しています。

自律的な成長の支援

原信サマースカラシップ

長岡市とアメリカ テキサス州 フォートワースは、姉妹都市の関係にあり、両市は高校生交換プログラムを実施しています。

このプログラムは、両市の高校生各8名がペアを組み、1週間ずつ交互にホームステイを行い、両国の文化について理解を深めることを目的としています。原信が資金を提供し、長岡市国際交流公報が運営しています。



長岡市長表敬訪問

1991年にスタートし、地域の皆様への恩返し、そして海外の異文化に触れ視野の広い人間になってほしいと願いから継続しています。コロナ禍の影響で一時中断されましたが、2024年に30回を迎え、長岡市より地域の国際化に貢献したとして、感謝状をいただきました。

高校生商品開発チャレンジin原信本部

新潟県内高校生を対象に、キャリアデザインのきっかけをつかむことを目的としたワークショップ「社会を見て・感じ・取り組んでみる」が、ながおか・若者・しごと機構主催、長岡技術科学大学、長岡造形大学、原信協力のもと2日間にわたって開催しました。

20名の高校生が参加し、大学の講義さながらの「アイデア発想」や「デザイン思考」を学びました。また、原信本部では「高校生が考える食べることで幸せになる商品企画」に挑戦し、原信が提供する商品の「豊かさ」「楽しさ」「便利さ」について理解を深める機会となりました。



グループごとに商品を企画

前橋商業高校との共同開発

フレッセイでは、群馬県と締結している地域活性化包括連携協定の一貫で、高校生と商品の共同開発を行っています。この取り組みは、今年で15年目を迎えます。

2024年度は前橋商業高校4名の生徒が「ぱくもち！ちぎり焼きまんじゅうパン」を開発し、2024年12月下旬まで38店舗で販売されました。

「魚の下ごしらえ教室」の開催

調理を通じて「食の大切さ」「感謝のこころ」を醸成する目的で、地域の小学校と連携して開催しています。

料理の基本である「下ごしらえ」は、様々な料理をするうえでの基礎となります。また昨今は「魚離れ」が進んでいることから、必須栄養素も高い「魚」に着目し簡単な下ごしらえの方法を、楽しく学んでいただく場としています。



小学生へのレクチャー

長岡技術科学大学でTQM講義

国立大学法人 長岡技術科学大学 情報・経営システム工学課程「経営システム学」の講義の一環として、原信がゲスト講師となりTQM講座を行っています。

TQMについての講義、QC手法の演習を通じてTQM活動や品質管理について知っていただく機会になっています。

公益財団法人 長岡社奨学会

長岡市の先覚者が設立した育成事業団体「長岡社」の人材育成の精神を引き継ぎ、原信は1997年より長岡社奨学会の運営を支援しています。

長岡社奨学会は、新潟県の高等学校や工業高等専門学校を卒業し、大学への進学を希望する学生のうち、学業優秀でありながら経済的な支援が必要な方に対し、奨学金を支給することで社会に貢献する人材の育成を目指しています。また、学費の貸与や給付に加え、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流活動への資金援助を行い、地域の発展と人材育成に貢献しています。

地域に根差したスーパーマーケットとして

アクシアル リテイリングは、地域の皆様の健康的な暮らしと、かけがえのない地域文化の継承を、サポートしてまいります。

地域の健康づくりのお役立ち

「からだよろこぶデリ」の販売

原信・ナルスでは、2021年より新潟県独自の「おいしくてからだよろこぶ」基準を満たした「からだよろこぶデリ」を新潟県内店舗で販売しています。



販売しているお弁当

原信・ナルス ウォーキングデー

原信とナルスでは、より健康的な暮らしに寄与することを目的に、「原信・ナルス ウォーキングデー」を開催しています。2024年度は40店舗で延べ617名の皆様より参加いただきました。今後も「食」だけでなく、「運動」の大切さも知っていただくきっかけづくりになるように取り組みます。



ウォーキングを楽しむ

地域の食文化を継承

山理屋小国饅頭

長岡市小国地区で100年以上にわたり和菓子を製造販売してきた山理屋菓子舗様が廃業を決定された際、その看板商品である「小国饅頭」の味を受け継ぎたいと願い、店主から製法を伝授いただきました。直火炊きのあんこの深い甘さと、塩味の効いたもちもちの皮が特徴の伝統の味を、当社グループのローリーが製造し、現在、原信・ナルスおよび一部のフレッシュイ店舗で販売しています。



「小国饅頭」は地元で長年愛され、受賞歴もある和菓子であり、当社グループで発売以来、多くのお客様からご好評をいただいています。これからも地域の伝統の味を守りながら、地域の文化や産品を未来へつなぐ、地域経済の発展に貢献してまいります。

地域のお祭り協賛

アクシアル リテイリングは、出店エリアのお祭りに協賛しています。

日本三大花火大会の一つである『長岡まつり大花火大会』では、「平和」「慰霊」「復興」の願いを込め、正三尺玉三連発を打ち上げ、大会を代表するプログラムとなっています。



地域に根差したスーパーマーケットとして

アクシアル リテイリングは、地域の皆様の日々の暮らしに寄り添い、それぞれのライフステージに合わせたサポートに努めています。

「もったいない」を「ありがとう」に

フードバンク活動支援

生活が困窮し満足に食事を食べることができない人がいる一方で、まだ食べられるのに捨てられている食品もあります。

原信では原信労働組合とともに、食のセーフティネットを支えるフードバンクながおか様に会員企業として協賛しています。原信労働組合のフードドライブ活動では2024年度は57kgの食料をご提供しました。

「みんな食堂」のお手伝い

孤食を防ぐ取り組みとして「みんな食堂」の活動が地域で広がっています。原信では店舗で不要となる食材をご提供させていただいています。2024年度は約854kgの食材をご提供しました。（原信城岡店・宮内店・花園店・旭岡店・美沢店・来迎寺店・関原店・見附店の8店舗）

ライフステージに寄り添ったご支援

子育て支援への協賛

地域の子育て支援の一環として、県や市が発行する子育て支援カードに協賛しています。

新潟県内では子育て支援ネットワーク「トキっ子くらぶ」に加盟しており、会員の皆さまへ毎月1回、独自の割引クーポン券を配布しています。また、レジでカードを提示すると、お買上げ金額から5%の割引サービスを受けることができます。

当社は、子育て家庭の経済的負担を軽減し、より安心して暮らせる環境づくりに貢献することで、地域社会の発展に寄与してまいります。



シルバースデーの開催

会員登録していただいたお客様を対象にシルバースデーを開催しています。

原信は、毎週木曜日と年金支給日にお買上げ金額から割引きをする「いきいきシルバースデー」、ナルスでは年金支給日に「シニア会員ポイント5倍デー」を行っています。

フレッセイの群馬県内11店舗では、毎週火曜日に、「ぐーちょきパスポート5%引きの日」、栃木県内3店舗では、毎週火曜日にお買上げ金額から5%引きする「いきいきシニアデー」を開催しています。



TOPIC

人生100年時代を支える「長岡100歳大学大学院」への支援

当社は、人生100年時代に対応した学びの場「長岡100歳大学大学院」（2023年9月開学）の活動を支援しています。健康寿命の延伸や持続可能な社会の実現に向け、基礎教養と実践的知識を通じて自立したアクティブシニアを育成。壮年以降の人々が経験と知識を活かしながら学び合うことで、地域社会の活性化と地方創生に貢献しています。当社はこうした取り組みを通じて、地域と共に歩む企業を目指しています。

新潟県の結婚支援事業「mari*pass」への協賛

原信・ナルスは、新潟県の結婚支援制度「マリッジパスポート(mari*pass)」に賛同し、2024年12月24日より協賛しています。mari*passは、結婚予定または新婚カップルが特典を受けられる制度で、当社では県内のサービスカウンターにて会員証を提示された方に毎月1枚の割引クーポンを配布しています。地域密着型スーパーとして、結婚と新生活を支援し、温かい地域社会づくりに貢献してまいります。



信頼の構築

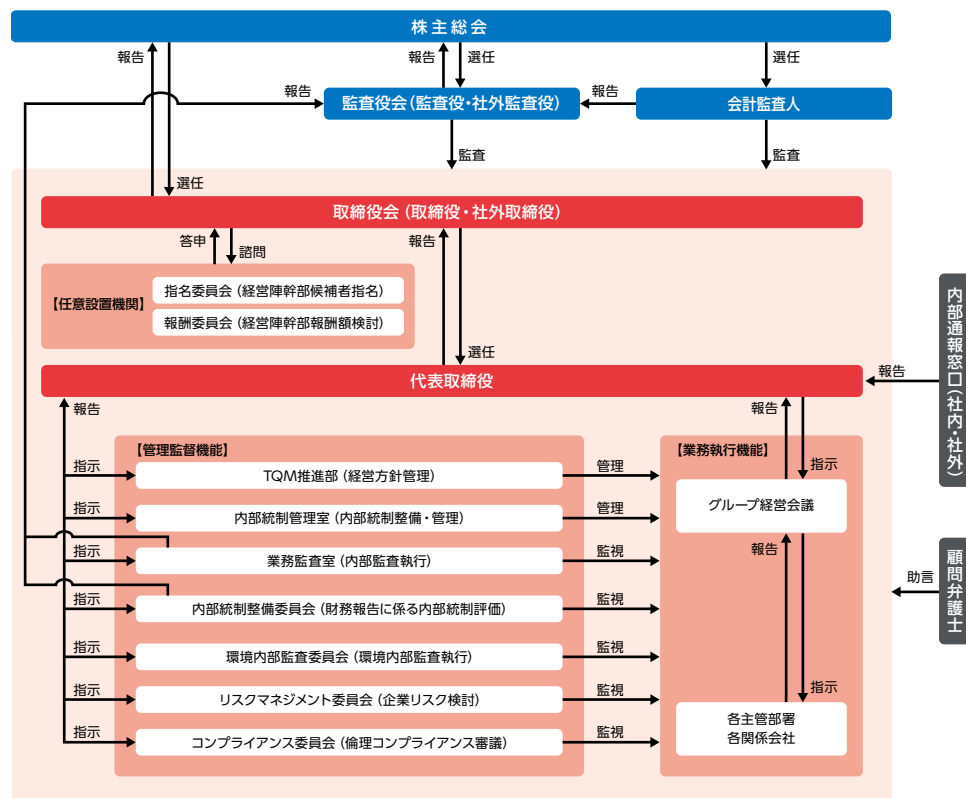
法令や社会規範を順守し、社会倫理に沿った企業活動を進めることで、ステークホルダーの皆様からの信頼をさらに高めます。

コーポレート・ガバナンス

現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

経営に関する意思決定と業務執行の役割を明確化し、企業集団全体の業務執行体制について、迅速かつ機動的な経営戦略の実現を図るとともに、責任を明確化しコーポレート・ガバナンス体制を強化することを目的として、2007年5月より執行役員制度を導入しています。

コーポレート・ガバナンス体制についての模式図



公正取引の推進

多様なステークホルダーとの信頼構築に向けて

原信・ナルス・フレッセイでは、持続可能な社会の実現に向けて、「マルチステークホルダー方針」および「パートナーシップ構築宣言」に基づく取り組みを進めています。

お取引先様をはじめ、地域社会、従業員など多様な関係者との対話と協働を重視し、互いの信頼関係を築くことで、より良い地域社会の形成と持続可能な価値の創出を目指しています。

お取引にあたってのお約束

アクシアル リテイリングでは、「お取引にあたってのお約束」を取引方針として定め、お取引先様と平等かつ対等な関係を築くことを重視しています。

お取引にあたってのお約束

1. お取引先様とは、明るく、紳士的な姿勢で面談いたします。
2. お取引先様と交わしたお約束は、誠実に守ります。
3. お取引先様に対しては、商品の買取りを原則とし、不当な返品はいたしません。
4. お取引先様との取引は、公平、公正な関係を保ちます。
5. お取引先様からの接待、贈答は、会社も個人もお受けいたしません。

お取引先様との関係強化

当社のスーパーマーケット事業は、お取引先様からの安定した商品供給に支えられています。お取引先様に当社グループの事業方針をより深くご理解いただくことが、強固なパートナーシップと、より効率的な商品供給体制の確立につながると考えております。

2024年度は、新本社の完成を記念し、お披露目を開催いたしました。会では、新本社に込めた私たちの思いと、当社の歴史・ポリシーをお取引先様にご紹介させていただきました。



お取引先様への新本社お披露目

会社概要

[会 社 名] アクシアル リテイリング株式会社
[所 在 地] 新潟県長岡市中之島1993番地17
[設 立] 1967年8月
[代 表 者] 取締役社長・CEO 原 和彦
[資 本 金] 31億5,971万2,610円
[上場取引所] 東京証券取引所 プライム市場(証券コード:8255)
[事 業 内 容] スーパーマーケット事業を中心とした企業集団の持株会社

アクシアル リテイリング グループ企業 会社概要

1. 株式会社原信

新潟県長岡市中之島1993番地17
代表取締役社長 丸山 三行
2006年4月設立(創業1967年)
スーパーマーケットチェーン「原信」の運営
<https://www.harashinnarus.jp/> 



2. 株式会社ナルス

新潟県上越市藤巻6番地50号
代表取締役社長 丸山 三行
1959年設立
事業内容:スーパーマーケットチェーン「ナルス」の運営
<https://www.harashinnarus.jp/> 



3. 株式会社フレッセイ

群馬県前橋市力丸町491番地1
代表取締役社長 早川 仁
1950年設立
スーパーマーケットチェーン「フレッセイ」の運営
<https://www.fressay.co.jp/> 



4. 原信ナルスオペレーションサービス株式会社

新潟県長岡市中之島1993番地17
代表取締役社長 丸山 三行
2008年設立
「原信」「ナルス」の運営をサポートするシェアードサービス会社



5. アクシアル レーベル株式会社

新潟県長岡市中之島1993番地17
代表取締役社長 小林 敏夫
2014年設立
PB商品の企画、製造、加工、卸売、小売、輸入など



6. 有限会社原信ネットオーダー

新潟県長岡市中之島1993番地17
代表取締役社長 丸山 三行
2023年完全子会社化
各種商品の小売



7. 株式会社ローリー

新潟県長岡市中興野232-1
代表取締役社長 宮路 光広
1978年設立
惣菜、パン、洋菓子などの製造や水産、精肉などの加工



8. 株式会社原興産

新潟県長岡市台町2丁目1番地15
代表取締役社長 小川 昌尚
1984年設立
損害保険代理店、生命保険代理店、ビル清掃業、不動産賃貸業
<https://www.harashinnarus.jp/harakosan/> 

株式会社原興産

9. 高速印刷株式会社

新潟県長岡市北陽1丁目53番地41
代表取締役社長 高橋 和章
1982年設立
印刷全般、広告代理店業務、web制作、イベント企画・運営
<http://www.kousoku-print.jp/> 



10. 株式会社アイテック

新潟県長岡市中興野16番地1
代表取締役社長 草間 浩司
2007年設立
食品スーパー等の運営に必要な各種システム開発、導入、運用、保守
<http://www.itecinc.jp/> 



11. 高翔商事株式会社

群馬県高崎市上並榎町468番地1
代表取締役社長 堀川 博史
2012年設立
不動産管理

